男一匹ガキ大将

決戦の時きたるの巻

第5巻

本宮ひろ志



男一匹ガキ大将

●第5巻●

本宮ひろ志

■決戦の時きたるの巻



物紹介



ガキ大将
戸川万吉



久保銀次

五神刑事



前巻までのあらすじ

ガキ大将の戸川万吉は、けんかが三度の飯より大好きだ。

火事で全焼した西海村の再建に、株でもうけた大金を投げだしてしまう。

しかし、白川宇太郎の計略にだまされた警察は、万吉の逮捕にやってきた。

登場人



特等少年院
部屋長



水戸屋商事会長
水戸正江





綱村鉄次
須永博

自分の正しさを信じる、万吉の怒りは爆発した。

一千人の子分とともに赤姫山に籠城し抵抗することにした万吉たちの守りは頑強をきわめ、警察は手も足もでず腕をこまねいているだけであった。

これからの万吉一家と警察の対決は？

目次

男一匹ガキ大将5
決戦の時きたるの巻

軍師登場の巻……8
万吉一家圧勝の巻……31
決戦の時きたるの巻……51
男度胸でぶっとばせの巻……70
ダイナマイトでぶっとばせの巻……90
万吉下山の巻……109
特等少年院の巻……132
地獄の歓迎パーティーの巻……150
殺人リンチの巻……173

男一匹ガキ大将





軍師
登場の巻








なにか…あったんですか…
これを読んでみんしゃい…
はあ…
ううくっ
うっ
おうっ……
なんと……
うむ……っ


おかあちゃん わいは
おとなになれと言われた事…
おじょうに おとなになれと…
自分のわがままな感情だけでは
今やって たまった。
おまわりがわいをつかまえた
おとなになれんこう事を
おとなになる前に
わかったんや わいは おとなになる前に
おし… おとなになる前に
ぎんやって ガキ大将として
最後に おもっきり
一ぱいしったる。
絶対にだまるもんか……


ガキ大将として
悪い事はしとらん
つもりや……
だから絶対に
つかまって
たまる
か……


こんとの
ケンカの
あいては
警察だ
さいごにひとつ
心配せんでくれよ
おかあちゃん……
わいは男や
……


親分…
あんたは
面白い
わしが思っていた
より　はるかに
面白い男じゃ……
どうする
光五郎さん…
あんたも山へ
登るかね…
赤姫山へ…
やぼなことは
聞かんで
ください
和尚……

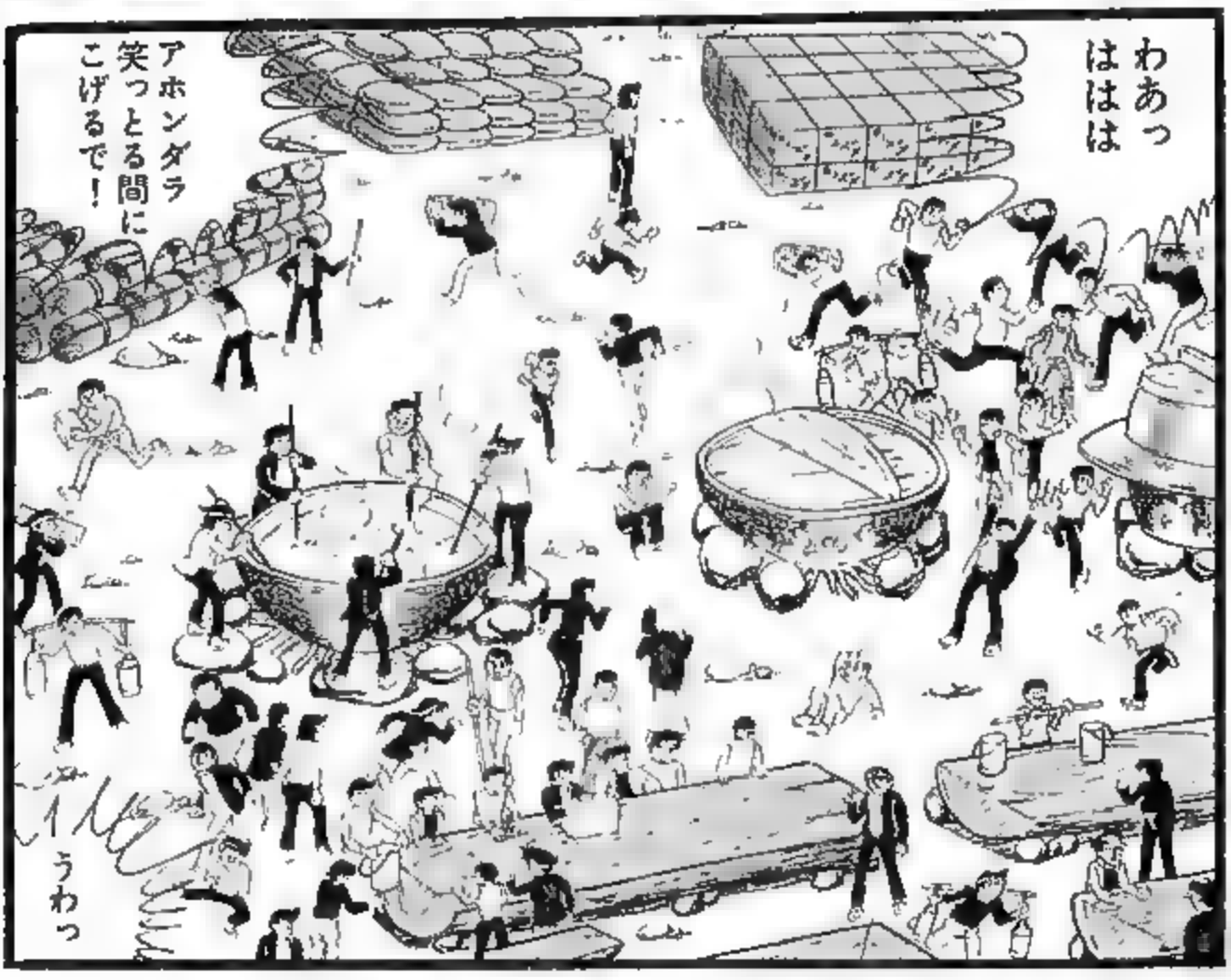

いい年は
しているが
これでも
万吉一家の子分
……
ましてや
戸川万吉の
軍師だっ
登らぬわけにも
いくまい




わっせ
わっせ
わっせ
こらさ
どっこいさ
おーっ
その丸太は
こっちや
こっち
よっ
しゃあ…
わあ
あぶねえ
気を
つけろ
アホンダラ


うおーい
はらへった
ぞーっ！
めしは
まだか
めしは……

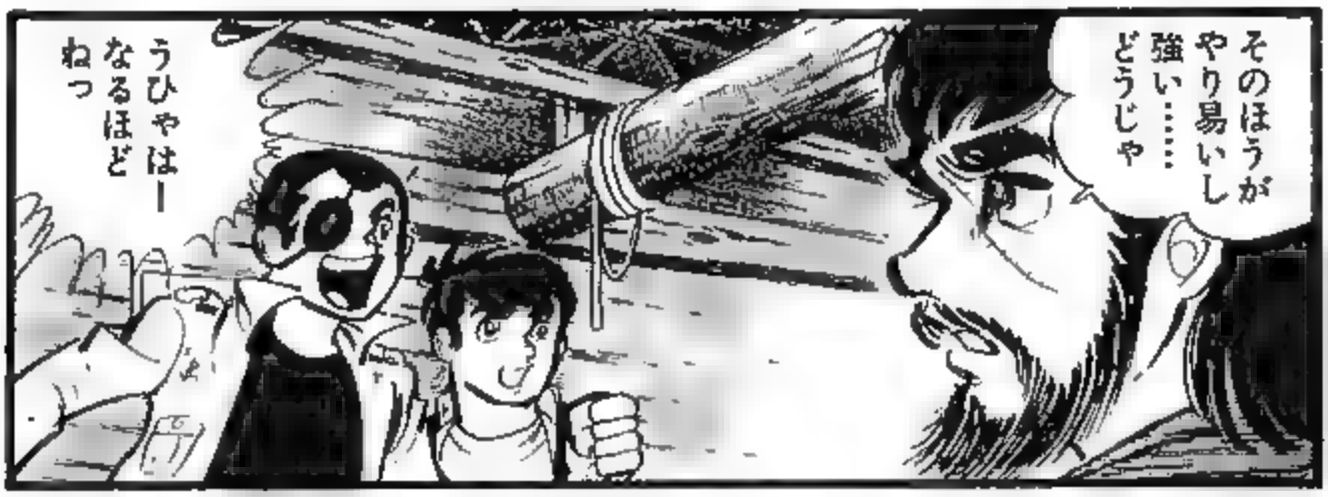

ばっきゃろう
がっつくんじゃ
ねえや
そうかんたんに
できてたまるか
千人分
作っとるんやで
千人分な！


わあっ
ははは
アホンダラ
笑っとる間に
こげるで！
うわっ


本部
親分
ン……どうした
へい……見張の連中が変な奴をつかまえましたで……
わっ
なっとらんぞ…この見張りどもは……
おうっ


光五郎
ふむ……
人数ばかりいても
全然まとまっとらんではないか
どれどれ……
ギッ
みっ…光五郎
来てくれたんかあんたも…
なにもいうな親分……
親分のあんたがきめたことじゃ従わねばなるまい
……


いかんいかん
とにかく
なっとらん
そ……
こんなところに
千人集めていた
ところで
まとまらん
だけじゃ……
ン……
めしのしたく
ひとつにしても
大騒ぎ
だろうっ
おう……
そうなんじゃ
人数をわけろ
班を作って
な……
その班
ごとに
独立させる
ふむ……
まず千人を
五十人ずつに
わけて 二十の
班を作る……
二十の
トリデを
きずくん
じゃ
ここと ここ
そうして
ここにじゃ…
そして
この本部を
かこむ
ように…


そのほうがやり易いし強い……どうじゃ
うひゃはーなるほどねっ


さすが軍師だぜケケケ……
しかしね親分……


こんなにがっちり作戦をたてても
ほんとにつかまえにきますかね警察は……


ばっきゃろうてめえもういやになったのか
そっ…そうやない


来る！
ぜったいに来る！
ギリ


もしきえへんかったらひょうしぬけするやんか！


こそこそ
かくれてる
わけではない
正面きって
つかまらんと
いっているのだ
それを
逮捕できんと
なったら
警察の権威も
がた落ちよ！


初めは気楽に
ぶつかってくる
かもしれんが
ふふ……
意地になって
でもくる
こいつは
な……


表むきの
相手は
警察だが…
ほんまの
けんかの相手は
白川とかぬかす
じじいじゃい
おとな流に
対する わいら
ガキ流の
けんかよ…
ガキは
ガキなりの
底力を見せたる
んじゃ！

戸川万吉
またも
ひと騒動！

こんどは
警察と
けんかか…

警察の
出頭命令に
おうぜず

赤姫山に
たてこもった
とは……

戸川万吉
またも大暴れ!!

しかし　この
戸川万吉てな
あ　なんだい

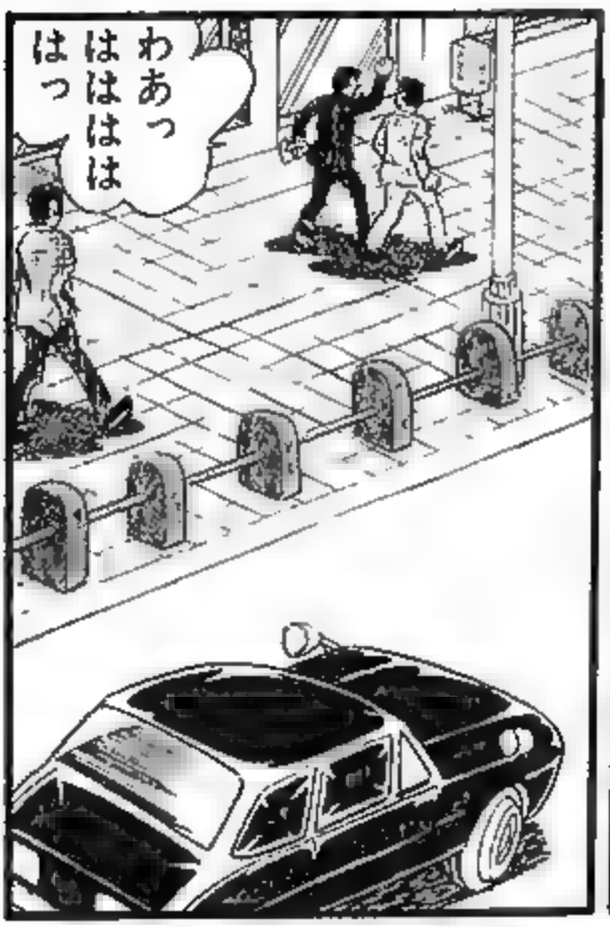
神田の乱闘に
ダイナマイトを
ほうりこんだと
思ったら……

アッという間に
二億もかせいで
天才相場師と
いわれた……

こんどは　山へ
たてこもって
警察とけんかを
やるたあ……

まったく
やることが
いちいち
ハデだねえ


しかし　あんた
この万吉という
男……
けっこう人気者
なんだぜ……
しかも……若くて
タレントでもない…
まったく新しい感じの
有名人だな……うん


わあっ
ははは
はっ


しかし…こいつあ
どこまで
頑張るか
面白いぜ
なん日もつか
かけようか
……




万吉のやつ……
ただでは逮捕されんと予想していたが…
ここまで無茶をするとは思っとりませんでした……
あの小僧……ありゃ本物だな……
ただ無茶をしているのではあるまい
どうやら警察に反抗することによって……
このわしに挑戦する気らしい……ふうっふふ……
しかもなおばば　やつめ自分で　気がついとらんかもしれんが……
最高の武器を身につけるかもしれんぞ……
最高の武器……


ああ……
一般大衆の
人気という
やつじゃよ
うっ！

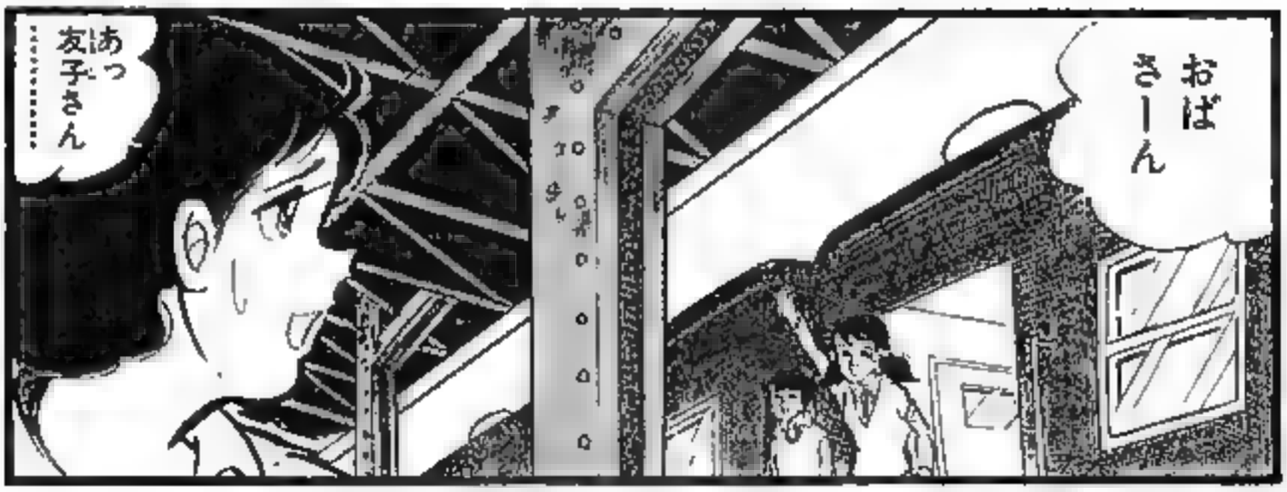

ガッ
しゃらくさいっ!!
それをまた新聞までが騒ぐとはな……
まっ 奴らめガキの戦争ごっこのつもりでいるんだろう
はあっはは…
うわっ……五神さんあ あれは
ン!


!! おう


こっ これは……
なっ……なんと……

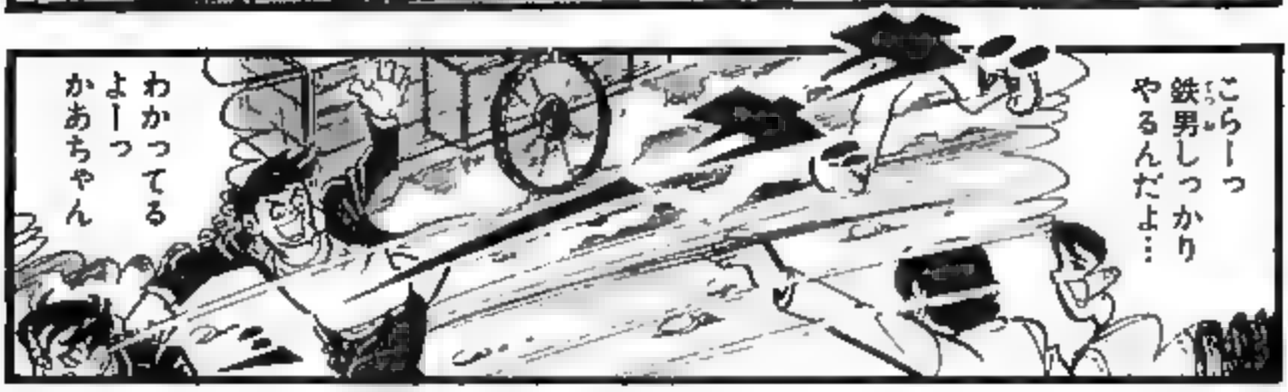


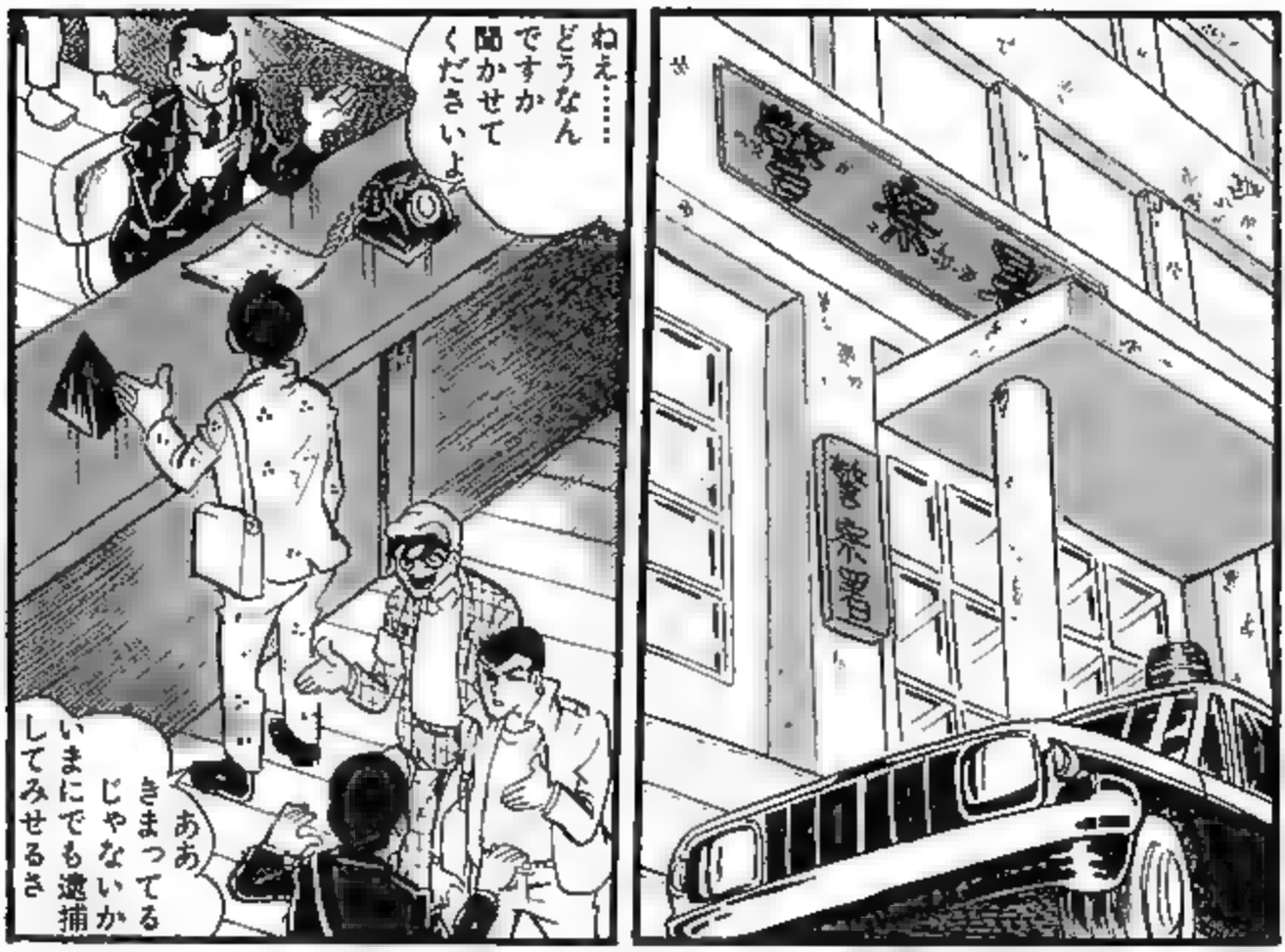

西海ーク
さいかいーク
ミシミシ
さいかい
ひゃあ!?
まったく もう乱暴な……
ふっふ……
ありゃ……万吉を取材にきた新聞記者じゃろう
1
……


おばさーん
あっ友子さん……


わたし もう心配で心配でそれでパパもいってこいって……
ほんまにもう心配ばかりかけさせよってあの子は……


こいつが山へ運ぶさいごの荷物や
いそげいそげーっ


こらーっ鉄男しっかりやるんだよ…
わかってるよーっかあちゃん


警察署
警察署
ねえ……
どうなん
ですか
聞かせて
くださいよ
ああ
きまってる
じゃないか
いまにでも逮捕
してみせるさ


またーっ
ほんとですか
かなり
むずかしいん
でしょう…
一年
ぐらい
かかるん
じゃ
ないすか
そんな
ことにでも
なったら
警察のめんつ
丸つぶれだぜ…

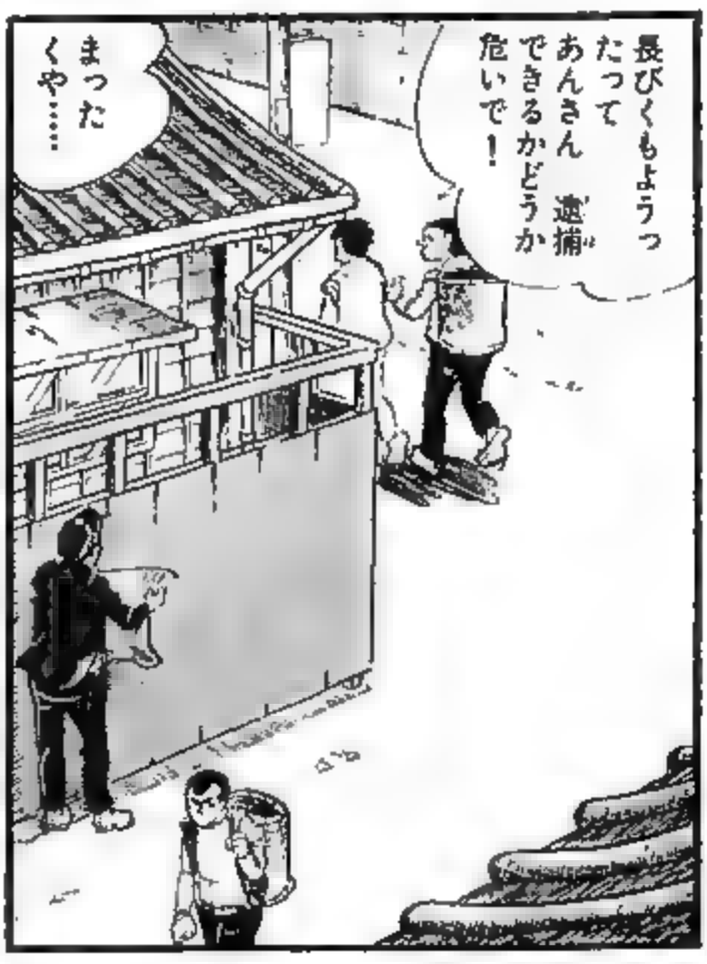

はあ
はは
ばかな
ことを
いうな！
もう　すでに
逮捕に
いっとるんだ
夕方には
つれて
帰って来るさ！


あっ……
東京の
刑事さん
！
ガチャ
くそー
やつらめ
本気だ！
おい
すぐ
県警本部へ
応援を頼んで
くれ
ええっ
……
ここで
いっきに
ぶっつぶしとか
ねば
あとあと
めんどうになる


人数はできるだけ多くだっ
はやくしろ!!
健さん すぐ山のほうへとんでくれっ
よっしゃあ…
くそーっガキめら～～～っ
なめおってえ～っ

万吉一家圧勝の巻


西海村全部が
万吉の味方のため
逮捕は長びくもようっ!!


長びくもようったってあんさん 逮捕できるかどうか危いで!
まったくや……


気にくわねえっ


どいつもこいつも万吉のことばかりじゃ!


万吉ーっ……
てめえという男はそんなにすげえ人間かっ…
なっ…なんやあのガキは…
きあ…あまりみかけん顔やな…
しゃらくせえっ!!
くそ万吉め……
わしが単身でとっつかまえてやる……
そしてきさまのぼせあがった顔をぶちのめしてやる……


うわーっ
きたきた
きさらしよったあーっ！
親分に知らせろーっ!!
人数は約百人
わかったあーっ
親分ーっ
おおっ


人数は……
へい…百人くらいだそうで
百人……
けっなめさらしよってえっ
おまわりだからって遠慮することあらへん!
思うぞんぶんけちらしたれーっ
おおーっ


まわりは
すべて
とりかこんだ
あっ!!
むだな
抵抗はやめて
すぐに
でてこいっ


お前らの
やっていることは
子どもの行為
ではないっ!!
おとなしく
山をおりれば
軽い始末書で
すむんだぞ!!


ケエーッ


あまったれ
るんじゃ
ねえや!!
こちとらあな
何も悪いことは
しちゃあ
いねえんだ!!


撮まえてえと
思ったら
腕ずくで
こいってんだ
べらぼう
めえっ!!
こぞ
う〜っ
……
ようしゃ
するな
全員逮捕
せえっ!!
おおっ
!!
けへへ…
きたぜ
おい……
ばかめら
何も知らねえ
で……
それ
ーっ
わーっ


わひゃーっ!!
あわわっ なんだこりゃ
おとし穴だ!!
うわーっ おすなばか
あれーっ
やったやったひっかかりやがったあーっ!!
ざまあみさらせえーっ
ぐぐ〜っ
くっそーっ
こんな子どもたましを!!


ひーっ
うひゃーっ
よりによって中に……
うんこをいれてやがる！
うわあーっ
くせえ
くせえ!!
こっちまでにおうぞ!!
うわっ
ははは
ひーひ
ひひひ
おのれ〜〜〜っ
もう〜〜っようしゃせんぞっ…
よーしつづいてオニ作戦だ
おおーっ


へっへ…だいぶはでにおっぱじめやがったな銀次め
ふっふ……
安心せえ親分…この鉄壁の守りは…
そうやすやすとはくずれん…
チェッわかってるわいへっへへ……
ドド
ん……
三吉か……
へい


オニ作戦とは……
これよ
受けてみやがれっ
うっ！
うわーっ
まっ
丸太の
雨だ!!
うわーっ
ぎゃーっ
助けてえーっ!!


わっ
ばか者
ひるむな
!!
へへ…
はは……
アハハハ
……
あっ…
あ…
ドン
うわあっ
おちた
おちた
また
うんこの中へ
落ちよった
でえーっ
ぎゃあ
ははは
……


ぎゃ
ははは…
やってる
やってる
こいつは
おもしろい
記事になるぜえ
ちれ
ちれーっ
ちりぢりに
なって
逃むんじゃ
そして
どいつも
こいつも
とっつかまえ
ろっ！
そーら
くせえのが
わんさか
やってきやがる
!!
こっちも
負けるん
じゃ
ねえぜ！
おおーっ
!!

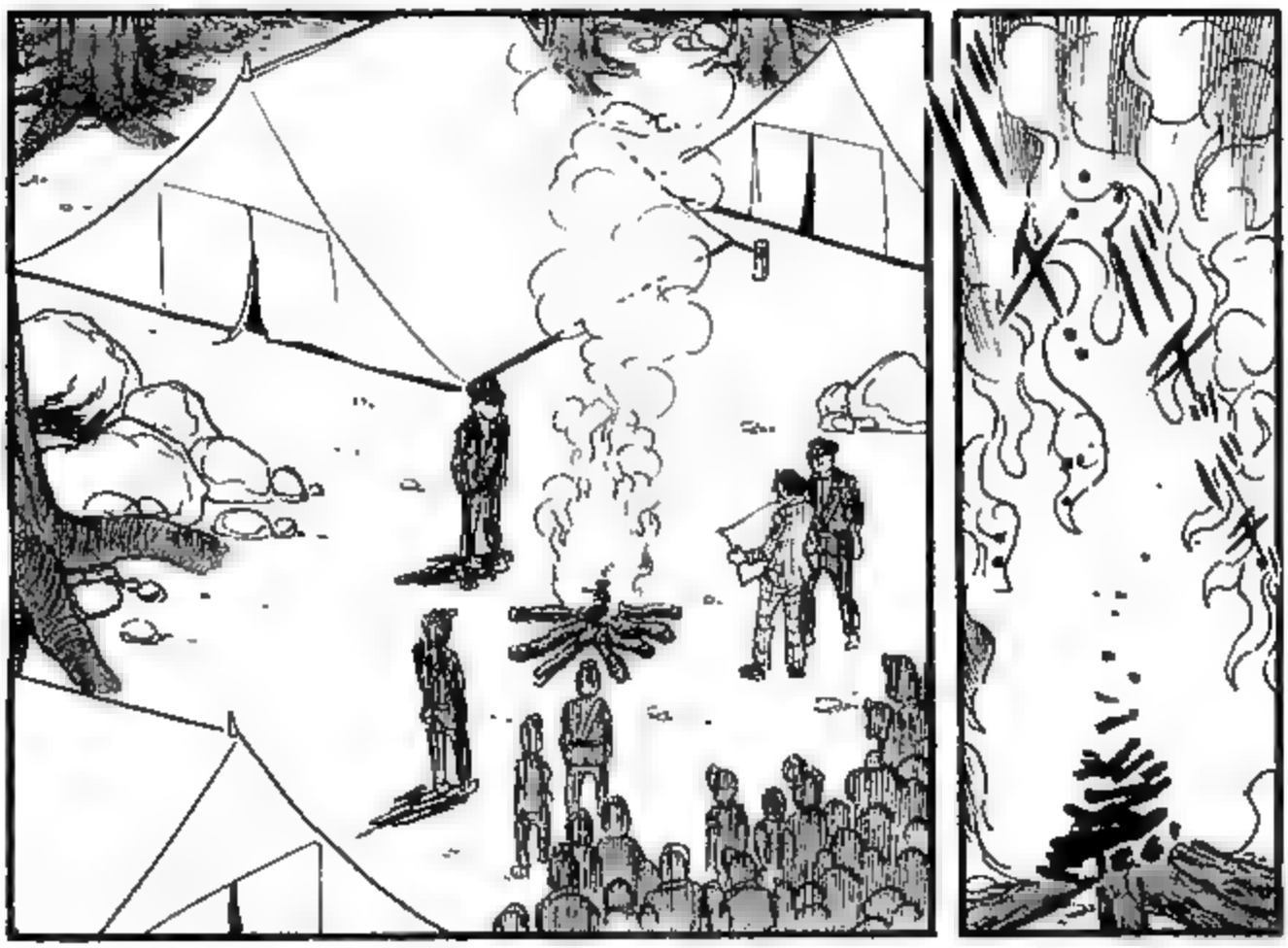

この野郎ーっ
うわーい
きっ…きさまら〜〜っ
うるせえーっ
腕ずくでこいってんだっ
うわっ!!
見てろ万吉め…わし ひとりできさまをつかまえてやる
そうなったら…このわしはいちやく英雄だ
そしてきさまは…犯罪者
そのまま…少年院いりだぜふふふ……


でんれーいっ
おうーっ
形勢はどうじゃ
へいっ
わが軍が
圧倒的に
有利でっせ
うむーっ!!
ひけーっ!!
ひけ
ひけーっ
いったん
ひきあげ
じゃあーっ
なんじゃ
なんじゃ
もう
やめっちまうのか
よーっ!!


根性がねえぜ根性が
うわあっはははは
さいごにみやげだぜだんな方……
ン……
なっ……なんだこりゃあ…
ポ


でんれーいっ
敵はいったんひきあげました!!
おうそうかごくろう
見張りは厳重にしとけっ
へいっ!!
三吉……
うっ
みっ…光五郎さん……
きさま……
まさか万吉親分についているんじゃなかろうな……
うっ…うそを……
な…なんでおれが……


それじゃ…おやすみなさい……おばさん
はいごゆっくり
うふふ……
エへへ……
いくわよ友子ちゃん……
ええっ万吉さんをおどかしてやるわ




だめですよ…
このまま
では……
万吉のいる所を
中心に ぐるりと
とりでを作って
あります……


この程度の
人数ではとても
つかまえられ
ません……
くそ
～～～っ…
いかく射撃をして
おどかしますか…
いかん…
万が一に
ひとりでも
傷つけたら
まずい…


新聞を見てみい……
大だい的に取りあげている……
戸川万吉赤姫山へ一千人の子分をつれたてこもる……
しかも…万吉の方に人気があるんだ
まったくばかげた話だ……
なあに時間の問題さ……
いくらでも手はある…ふっふふ…
えへへへ…おまわりさんたちやってるわ！
ほんと……
ばっかみたいちょっとやそっとでつかまるもんですか…
ねえ…
ガガガガ
あらっ……


きゃあーっ!!
だれ……
だれよ……
万吉さんの子分の人なの
わたしは友子よ万吉さんのしりあいよ……
思わぬひろいもんだぜ……
こいつは……
ふふふふ…


決戦の時
きたるの巻


……




ねえ親分
なんや……


いっ……
いや……
なんでも
ねえ…
へえ……
変な
やっちゃ
なあ……
へへへ
……
いくか
……
へい
親分
……
おれっちは…
あんたに
かけたんだ
あんたが
好きなんだ
よ
へっへへ……
どんなことが
あっても
守るぜ……
たとえ
このおれが
死んでもな
……


てっ
てめえっ
ふざけた
野郎だ
ひとりで
のりこんで
きやがったのか
なめ
やがって
やかましい!!
ささまら
雑魚に 用は
ないっ
万吉を
だせっ
万吉
を……


へえ…このアホンダラ……
万吉親分が…こんなチンケなとりでにいると思うんのか……
この山の頂上でデンとかまえてらっしゃるわい……
とおらせてもらうぜ
うっ
なめるなこのガキ！
なんのためにわいらがここにかまえとる思うとんのじゃ


じゃかましい
万吉がなんやちゅうねん!
あんなガキがいったいなんやちゅうんじゃ
ぶっ殺したるわいっ……
くそったれ~~~っ!
ふんづかまえろう
やろう!!


なにを
ガタガタ
さわいで
いやがる
うっ
ひっ
ちいっと
見まわりに
きてみれば……
どういう
こっちゃい
これは……
おっ…
親分
万吉親分
……
ふふ…
でたな
万吉……


てっ
てめえは
綱村!!
おうさ
綱村鉄次
さまよっ


ケエ〜〜〜ッ
しょうこり
もなく
まだなにか
やる気か
てめえ


しゃらくせっ
!!


このわしと
きさまと
どこが どう違う
ちゅうのんじゃ
同じめしを食い
同じくそをたれて
同じけんかをやり なぜ
わしよりきわがれるんじゃ




ふふ
……


おもしろい男やのう……おんどれという奴は……
はぐらかすな!!


いきむなって……
ふふ……


なっ…なにいっ…
おっ…親分……
しかしまだまだガキやど…お前…


わいはお前のような男…好きやで……


もうすこしおとなになったらどうや…
アン…




やっ!!
やかましいっ!!


それや…それ……
なんでも　やかましい
しゃらくさいで
ごまかしとったら
あかんよ…
世の中それじゃ
通用せえへんで
ほんまに……
ケッ
この野郎！
聞いた
ようなこと
ぬかしやがって
……
ふふ
……
どうだ……
このリボンに
見覚えが
あるだろう…
あっ
こっ　こりゃあ
友子ちゃんの
ですぜ
親分……
なにいっ
……
てっ…
てめえ…
まさか
……
ふふ…


ちょうどきさまに会いにきたところをとっつかまえて……
人質にしてあるわあ……
きっきさまあ～～っ
きったねえ野郎だぜ……
ケッ！
その程度の人間か…おんどりゃあ…
じゃまがしいっ!!!
なんとでもぬかしやがれっ!!
たったひとりでてめえをとっつかまえりゃあなっ!!
この網村さまはいちやく英雄よおっ!!


それだけか!!
ぎゃう!!
ぐうっ


このガキをふんづかまえて木につるしあげろっ
へい……

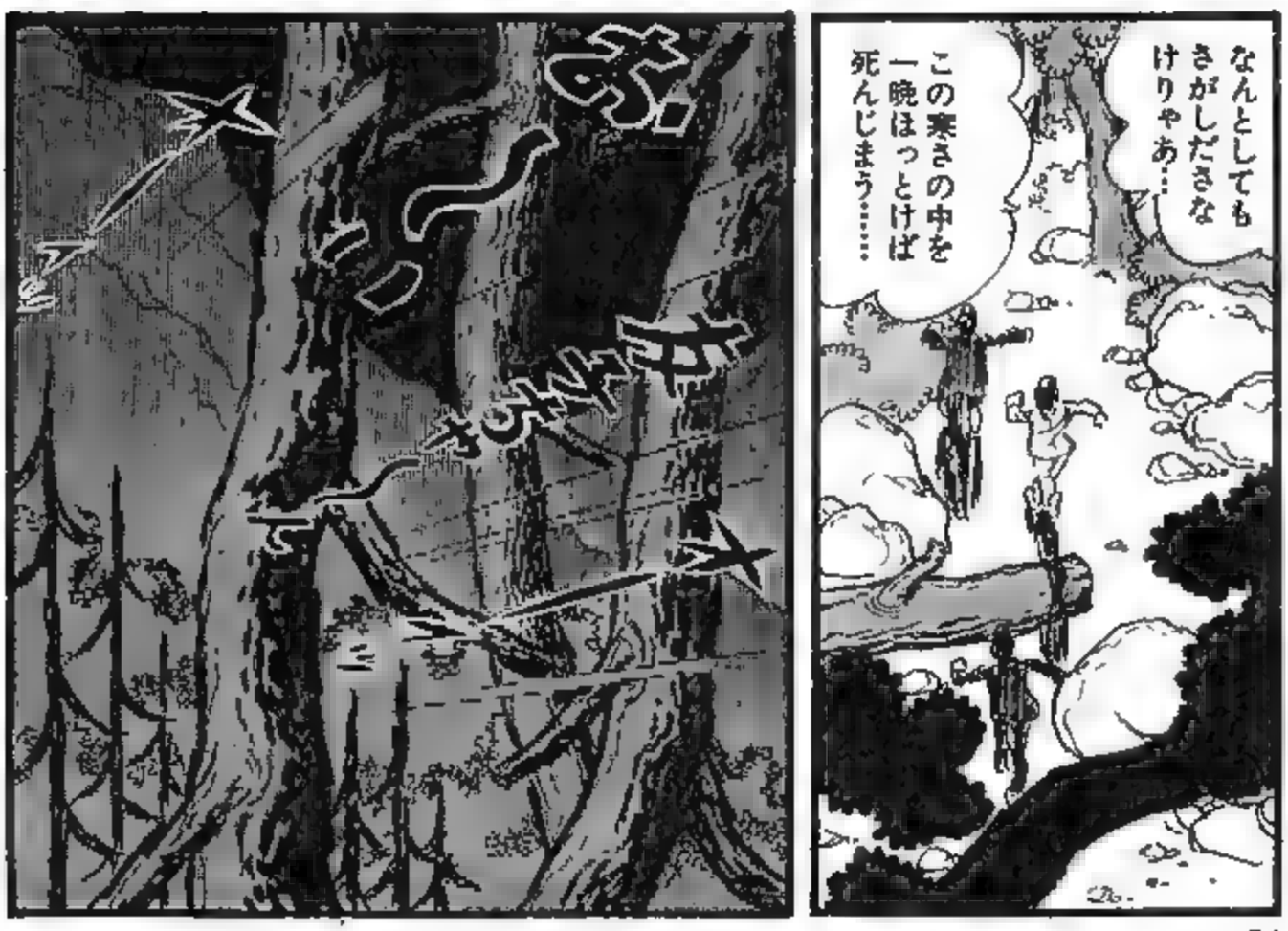

ケッ…
こんなリボン
なんぞ……
いくらでも
ある……
それに
今頃 こんな
ところへ くる
はずがあれへん
くそ
――っ
綱村の
野郎……


きさま
あ――っ
友子ちゃんの
ことは
ほんとうの
ことなのか
ふふ…
はや〜探した
ほうがいいで…
きもなきゃあ
この寒さだ
もたねえぜ…
きたねえ
野郎だっ
!!


ふふ……
なんとでも
いえ……
わしゃあ
万吉の野郎を
とっつかまえ
りゃいいのよ…
それより…
いいのかい
かよわい
女の子を
こんな寒空に
ほっといても…


二三人おいて
残りは
友子ちゃんを
さがし
だすんだ
山ん中を
しらみつぶしに
さがせ!!


おーい……
友子ちゃ～ん
いたら…返事しろ――っ
うお～～!!
お～い……
くそ――っ
おれ達のてまえ親分はとぼけてるが心配で　心配でたまらねえはずだ


なんとしてもさがしださなけりゃあ…
この寒さの中を一晩ほっとけば死んじまう……


ン…
うむ……
山のほうがばかに騒がしいが…
課長!!
どうしたっ!!
三番の砦がガラあきですしかも そのすぐそばに 万吉がいるようすです!!
なにいっ!!
よおーしっせめこむのは今だ!!
そして万吉をふんづかまえろ!!


それっ!!
ばちばち
ンッ…
なっ……
何ごとだっ…


おいっ!!
本部
下のほうがばかに騒がしいが何かあったのかっ
うわあ〜〜っえらいこっちゃあっ!!
第三塔に人がだれもいませんぜ
そこへ警官隊が攻めこんでいる
なにいっ!!
うわーっそのすぐそばに……
おっ！親分がいます
なにが起ったんだいったい!!
ええーいすぐ人数をさしむけろ!!


なんだ
なんだ
ここの守りの
連中は
どこへ
いったんだ
ばかやろう
――っ
逃げろ
万吉っ!!
な……
なにいっ
まぬけ
――っ
上の砦へ
逃げるん
じゃ!!


うっ
動くな
万吉!!

男度胸で ぶっとばせの巻




うわ
——っ
なア……
なんだっ


うっ


ラガーッ


!!
ラ
ぁぁ


ぎゃあ
——っ
うわ
——っ
ふぎゃ
あーっ
うわ
——っ


っ……
綱村
おまえ
ばかやろう
ぐずぐず
するな……


にげるん
だ
万吉!!
あっ
ああ


待てい
!!
待たんと
射つぞっ


やめろ!!
射っちゃいかん!!
くそーっ
おえっおうんだ!!
いそげいそげ——っ
はやくしねえと親分がつかまっちまうぞ!!
うお——っ
万吉の子分どもかあっ
ここだここだこっちだっ


親分!!
おう 松川か……
よかった よかった
無事だったんですね 親分……
あ… ああ
あとは この松川にまかせておくんなはれ
ボリ公なんぞ これ以上一歩たりともいれてたまるかい
二度とこれねえようにたたきつぶしたる!!
おおーっ
ハ〇町
…


それっー
やっち
まえーっ
おお
――っ
やいっ
きさまら
抵抗すると
全員逮捕するぞ!!
やかま
しいーっ
できも
せんのに
逮捕逮捕と
ぬかすなっ!!


くそーっ
もうようしゃ
するな 全員
とっつかまえ
ろっ!!
あまったれ
るんじゃ
ねえ!
うわっ!!
こんの
やろう
敵は百人だっ
三人で
ひとりの警官に
あたれっ
おお
——っ
そりゃ
あ——っ
うわーっ


へっ…
どいつも
こいつも
万吉……
おんどれの
ことになると
懸命に
なりやがる
綱村
なんで
きさま…
おれを
助けたって
のかい？
へっ……
あまったれ
るな
まぬけ
きさまを
とっつか
まえるのは
わしひとり
じゃ




わしひとりで
とっつかまえな
あかんのじゃい
!!


ふふ……
それもな……


おんどれの子分どもが見守る中をゆっくりとな
戸川万吉なんぞこの程度の人間だということをみせつけながらな


きさま この寒空の中をほっぱらかしとく 度胸があるのか……
ふっふ…やはり気になるらしいなあの女の子たちのことが……


答えろ
――っ!!


こんのスカタン!!
うわーっ
ばか者ひるむな!!
警官のめんつにかけて負けるなっ
わーっまた新手が…
なにいっ
うおおーっ村田以下三百人応援にきたぞっ


おおーっ
ごくろう
だ!!
イャッホーッ
ラッパちゃんも
百人つれて
きたどーっ
くっ…
くそ〜〜っ
なっ……
なんや アホッ
わいにも
一発ぐらい
なぐらせろっ
ひけ
——っ
ひけひけ
ひけーっ!!
わあっは
ははは
——っ


わしゃあどんな手を使おうとひとりできさまをとっつかまえる
それだけじゃい…
そういえばあの子たちずいぶんとうす情やった…
こんなものがふってきだして一晩もつやろか
きっ……
きさま〜〜〜
うわあはははっ!!


うっ…
ばかに寒いと思ったら雪が降ってるわ友子ちゃん


わたしたちにこんなことをして……
あの人いったい何をやる気なのかしら…


でもさあ……いいとこあんじゃない　あいつ…
火までおこしていってくれたもん……


もしかしたら……万吉さんも……


ほとんど修繕は終ったで…
うむ～～っ
しかしほんまにあぶない所やった
あと一歩くるのが遅かったら……
なんでえなんでえ


おい
ばかに
騒がしいが
何か
あったのか……
なんで
おまえら
みんな
この砦に
いるんだっ


ここは おれっちの区域の砦だぜえ～～～っ
ばか
やろうーっ


このおっちょこちょいめ!


なにをーっ
しゃあ
がんでえ


銀次 おのれが砦をカラッポにして どこかへいきやがるから
みろっ


親分がもうちょいでつかまる所だったんやで
なにい——っ


まったく
脳なしの
おっちょこ
ちょいやな
われは
そっ……
それで
無事なの
か…
親分は……
あったりまえ
じゃ 無事で
なかったら
……
おまえなど
殺して
もうたる
わい……


どけどけ
どけーっ
どかんかい
このアホン
ダラッ!!
あっ
うわっ


親分…
大将!!
ふっふ
ふふ…
うわあっ
はは…
はあっは
ははは
こっ…
これは
いったい
なっ…
なんやちゅう
ねん……


どうじゃった 銀次 山中捜して みつかったかうん…
てっ… てめえ ～～～っ
うわあっ ははは ははは
くそーっ なんだってんだこのガキは…
ぶちのめしたれっ!!
すまん!!
かんべんしてくれ みんな～～～っ 手をだきんでくれ～～～っ
おっ… 親分…


みたか
おんどれ
ら……
これが万吉よ
この綱村さまに
かかっちゃ このとおり くったらん男よ…


うわあはは!!


ぎっ…
銀次!!
おっ
おいっ

ダイナマイトでぶっとばせの巻





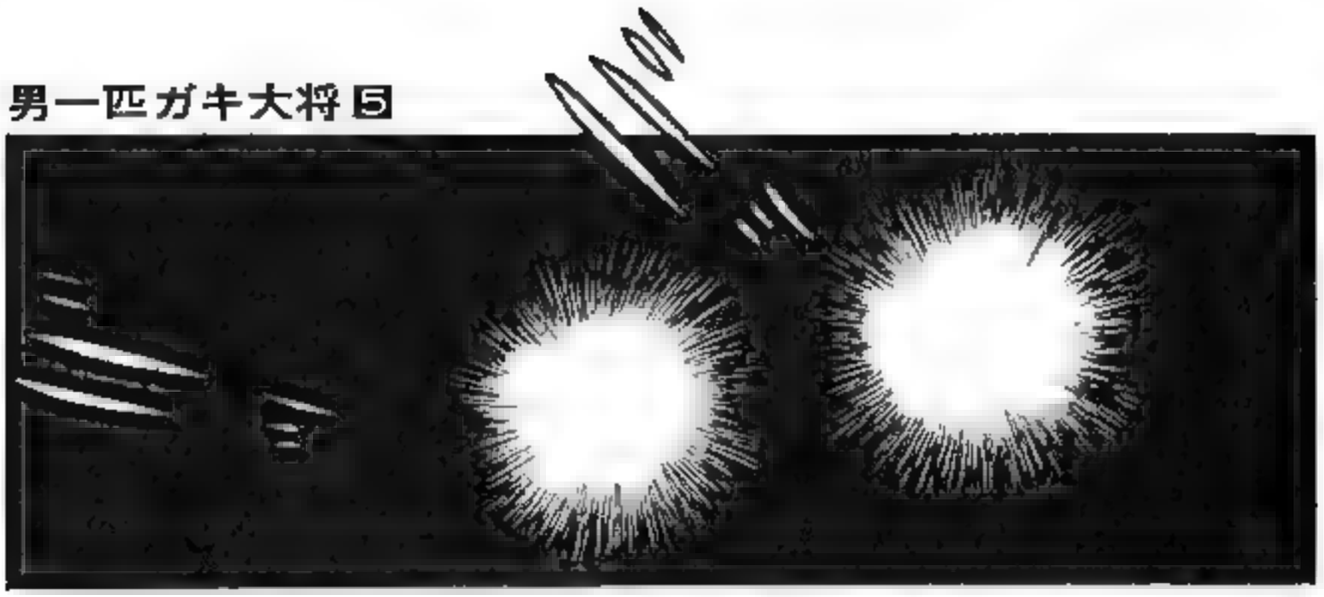







おまわりさん方よ…
うっ
もう……こんなとこにいる必要はあれへんでい
ふっふふ……
きっきさまは……
さっきじゃまをした男…
ちいーっ
ふんづかまえろっ…
こいつをみてからいってもらいたいもんやで…
ふはははは
待て待て待て——っ
待ちさらせっ


なにいーっ
え……っ
まずいっ
まずいぞ
こいつは
友子ちゃんが
人質に
つかまって
その身がわり
とは……
わかる…
わかるが
な～～～っ
くそーっ
!!
そのために
一千人の子分を
すてると
いうのかっ
それが
万吉親分の
いい
ところでもあるが
最大の欠点
なんじゃ…最大の…
もうすこし
悪党に
ならなければ
ならんのだ
大事の前の小事を
すてるぐらいの
な……




うあっ
ははは


ふふふ…
はっはは
……




刑事さん方よ
さっきは
すまなんだな…
しかし
かんべんしてくれ
こうして 万吉を
ふんづかまえたんや
なっ……
なんて
こった…


こっ こいつは
すごい…すごい
特ダネだぜ
信じ
られん
……
そのとおり!!


信じられんで
とうぜんじゃ
百人もの
警官が 大騒ぎ
して つかまえら
れへんかった…


それを綱村さまが
たったひとりで
ふんづか
まえた


でかでかと
新聞にのせて
くれよ
プン屋さん方!!
うわあっ
ははは


ケッあのガキ 調子に 乗りやがってえ
親分… 待って くれっ
すぐに 助けだして やるからなっ
あっ


万吉さん…
ふふ……
ははは……
うわあっ
ははは
やっ……
やはりわたしたちのために…


きっ
ささまあ～～っ
なにが
おかしいん
じゃい
ふふ……
こんなところ
に かくまっ
とくとは…
おんどれも
まだまだかわい気が
あると思ってな…
ふふ……
ケッ
……
なんとでも
ぬかしやがれっ
どの道
おんどれは
少年院行きよっ
うだうだ
ぬかさず
警察まで
直行じゃい
うわあっはは


うっ
助けにきたぜ〜っ
万吉親分…
銀次……
てめえは眼帯……
なにをやっとるかすぐに逮捕しろっ


はっ
それ
――っ
騒ぐんじゃねえっ……
うっ
うわーっ
なんと……


親分……
友子ちゃん
それに　もう
ひとりの女の子は
チッ
おれっちと
いっしょに
死んでも文句
ねえな……
きゃ～～～っ
かっこいい
～～～っ
ねえねえ
あの人が
銀次さん
でしょ
そ
そうよ
……
ぎ…
銀次
うう～～～
なっ…
なんて
やつだ…
どう
なん
だよ……
てめえら!!
くそーっ
銀次の
やろう…


あわわ……
うわわっ……


なめるなよ刑事さん方
おれたちにはいつでもこれくらいの覚悟があるんだ




生きてなにかをやる…
死んでもともとよ


命なんざあいつでもすてるだけの覚悟はできてるんでえ

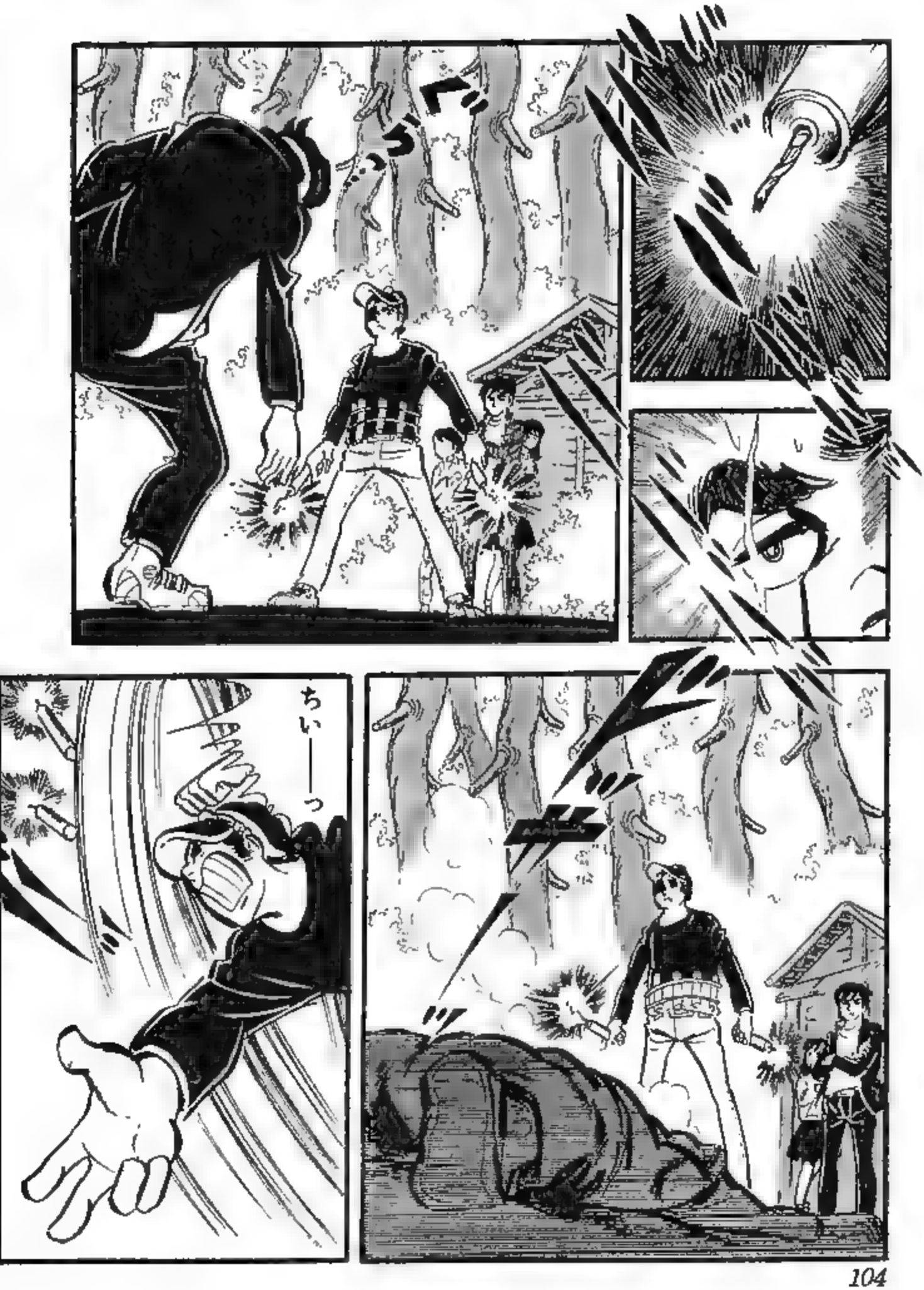


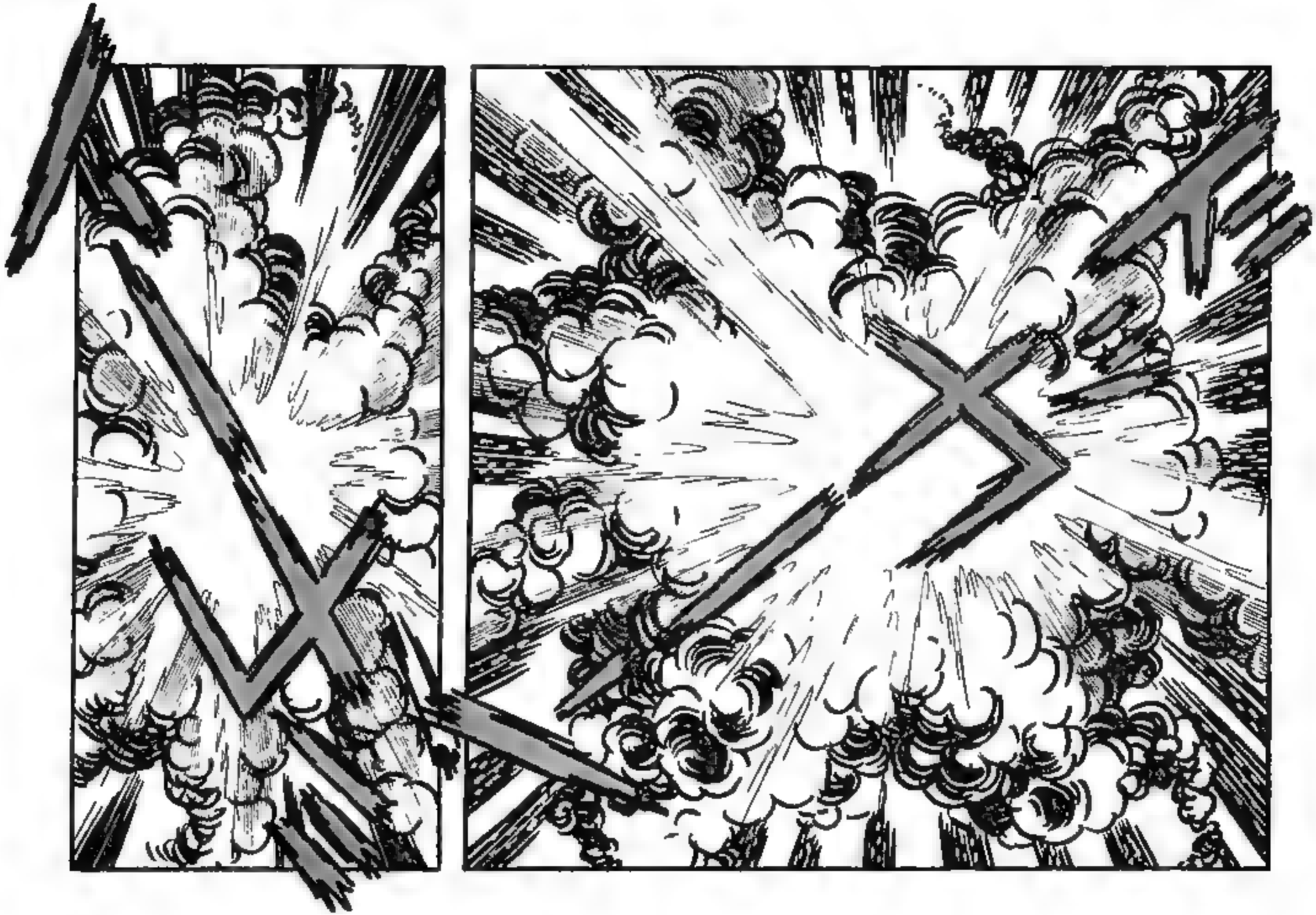

ううっ……


うわ――っ


ばか者
ひるむ
なっ……
われわれは
警察官
だぞ……っ
うわわっ
……
くっ
くそーっ
おぼえて
おれっ！
うう……っ
ほ～～～っ
綱村 てめえは
逃げださねえ
のかっ


おもしれえ……っ
なめるなこれでも男一匹綱村鉄次さまよお～～～っ


ちぃ――っ

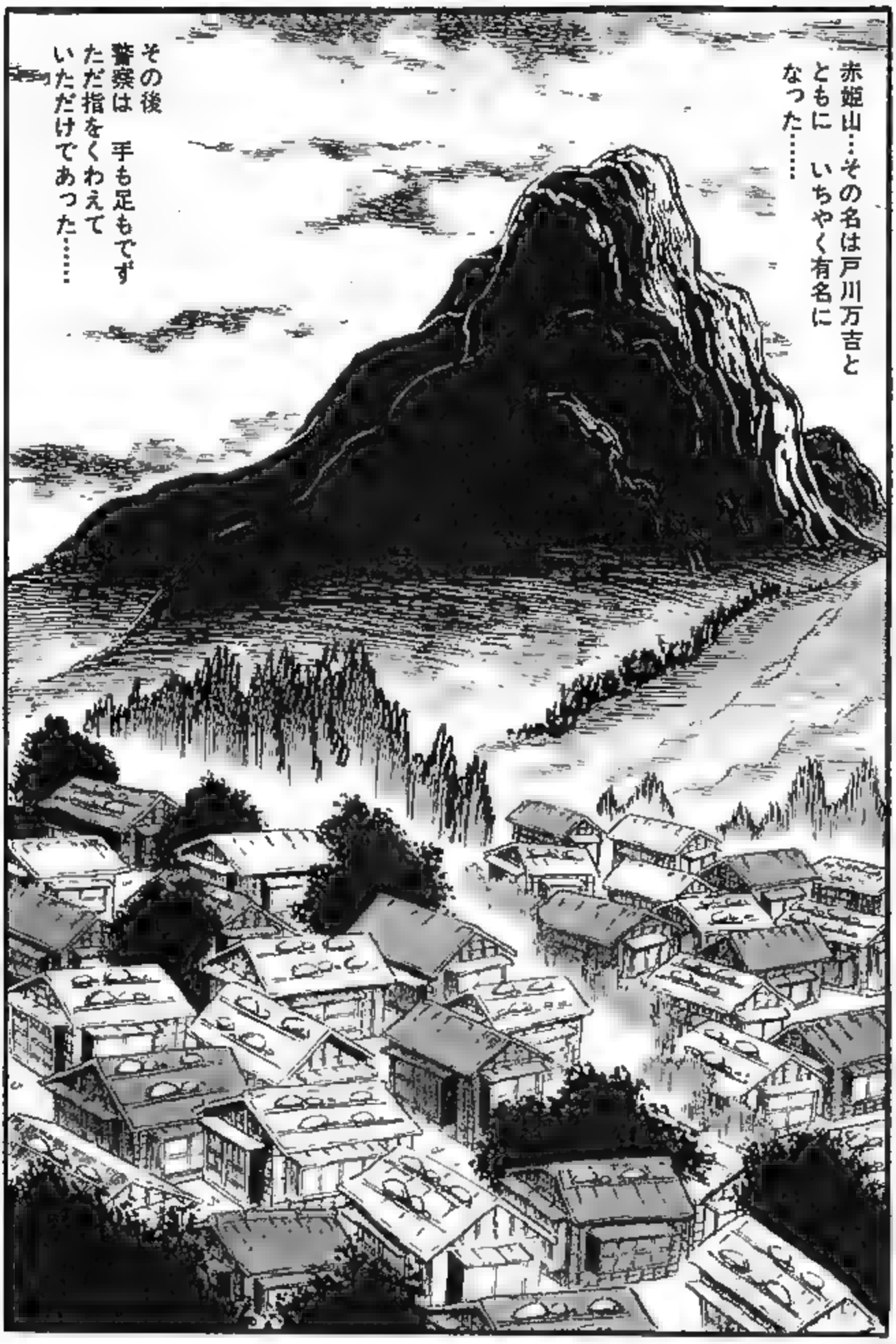



うわあーっ
万吉
さあーん

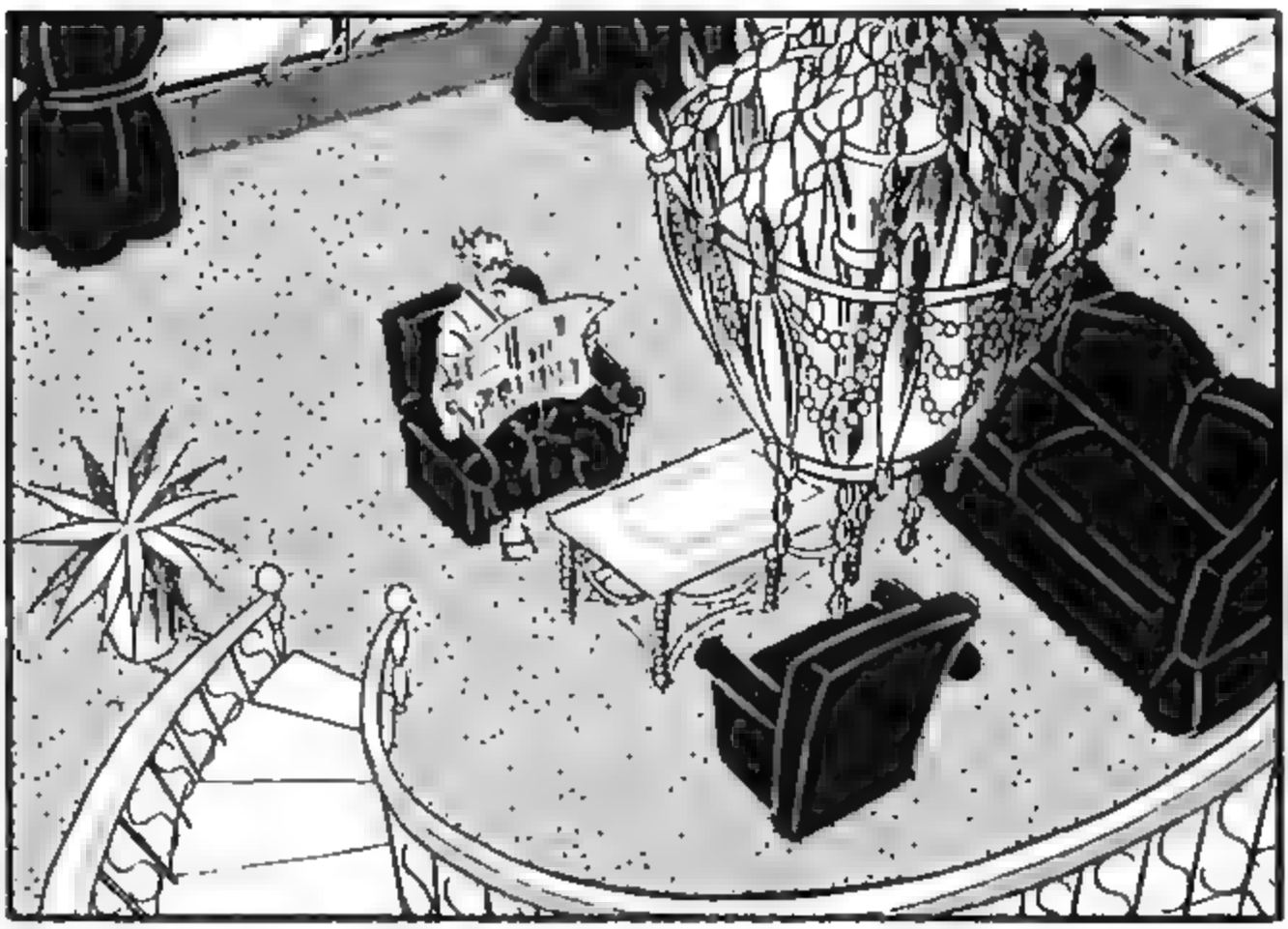

無事で
なによりやったなあ
わ〜
〜〜ん
すぐ山を
おりるんや……


ええ
——っ
せっかく
苦労して
あえたのに……
いいから
すぐ帰るん
じゃいっ


へっ
へい……
まっ
万吉さん
……
銀次
ふもとまで
送ってくれ…
わいは
まだまだ
あまい
あますぎた
んや……
わ――っ!!
と……
友子ちゃん
……
親分……
いいんだよ
それで…
そのあまさが
あるから 子分が
一千人もいるん
じゃねえか……


赤姫山…その名は戸川万吉とともに　いちやく有名になった……
その後警察は　手も足もでずただ指をくわえていただけであった……

万吉下山の巻




万吉
おぬし　目に
みえてでかく
なりおる
のう……
いま
思って
みれば…


愛子にしよう
など…わしが
あまかった
今回は負けだ
わしらのな…


警察との　まっ正面からの
ケンカは　日本中にひびきわたり…
戸川万吉千人
戸川万吉
赤姫山でがんばる
東日新
戸川万吉は　一気に
マスコミにのった


さあさあ
買った
買ったあー
え～～～っ
らっしゃい
らっしゃい
……
さあさあ
あちらに
みえるのが
万吉親分が　たて
こもる赤姫山だよ

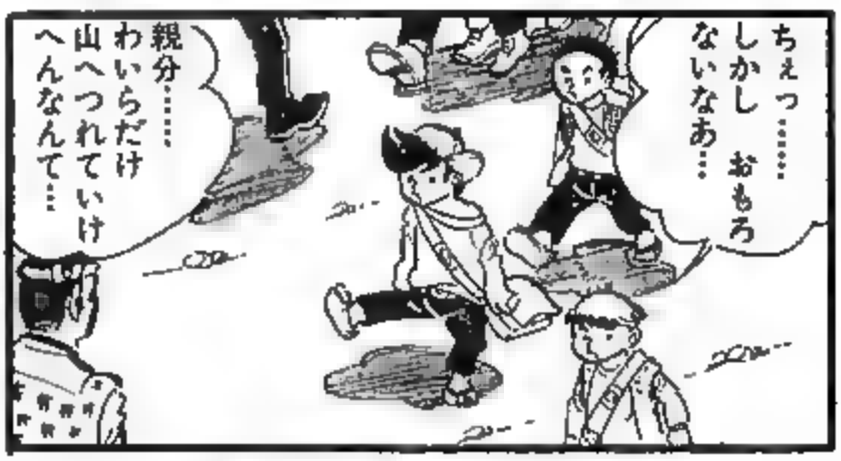

え～～～
おせんに
キャラメル
アンパンは
いかがあ
――っ

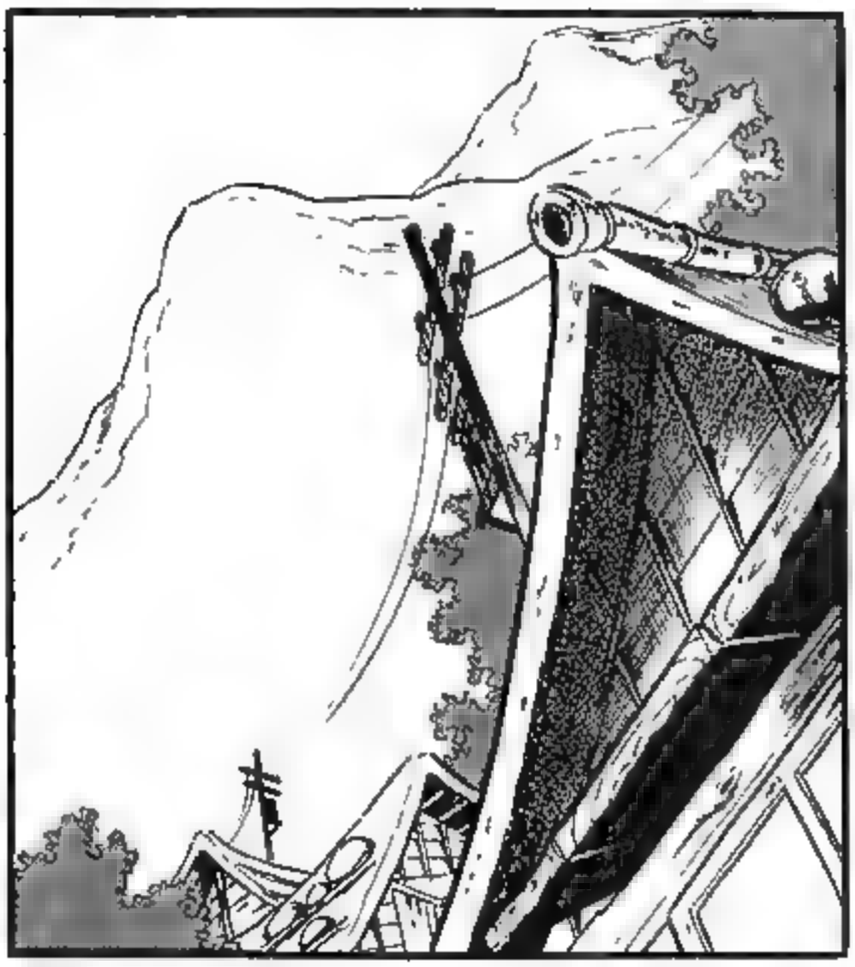

わっ


なんじゃ
と～～～っ
わっ……
これはこれは


気をつけん
かい!!
アホンダラ


まったく
やあ……


ちぇっ……
しかし おもろ
ないなあ…
親分……
わいらだけ
山へつれていけ
へんなんて…

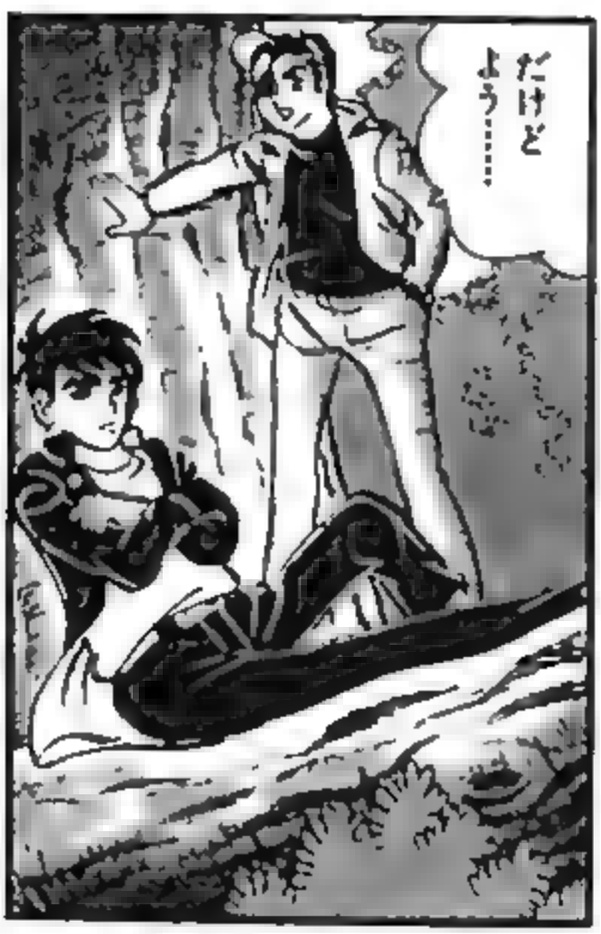



万吉さん
……






ねえ…親分
下じゃ だいぶ
騒いでる
みたいだぜ
ああ
……


だけど
よう……




いいんですかい……
なにが……
なにがって……
友子ちゃんにあんなつめたい態度とっちまってさあ!!
なあ…銀次…
へえ……
お前やったらわかるやろ…
わいの今の気持ちを……
こまかいこといちいちごちゃごちゃやる気がせえへんのや
銀次…これからはお前がわいのかわりに体で動け
わいはこれから頭で動く!


白い
ハンカチは
いつまでも
白くはない
ゴロゴロ…
どういう
意味だ
親分!!
わいは以前
カスミの
大将に
いわれた
お前は
機関銃を前に
かまえている
ような人間だと!


ふふ……
その機関銃をうしろにかくすんじゃない!!
白いものはぜったいによこれていく……
そのよごれをみとめん奴はすばらしいかもしれん
しかし……わいはなあ銀次……
天下を取るために
そのよごれを自分のこやしにしてやるんじゃ


それが
おとなに
なって…
勝つ
秘訣だっ
やはり
そうだった
のか
きさまあっ
ン！
なっ……
なんだ
やはり
うそをついて
いたんだな
三吉！
かっ
かんべん
してくれ
だんな！

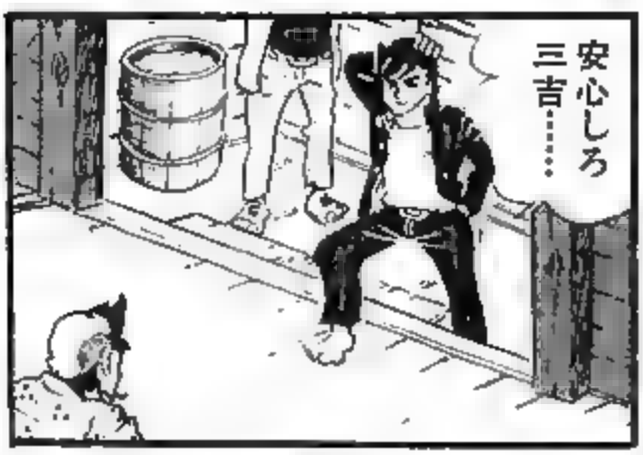

おりゃあ 仲台たちのやり方がくやしくてくやしくて！
それでうそをついたというのか
すまねえ～すまねえよお～～っ
ち ちい～～っ
いま親分はなんのためにこの山へ たてこもったと思う
火事の一件もすべて証拠を消されている
残るは 三吉お前が殺されそうになったことだけが警察と戦っている理由だ
それがうそだったとしたら……
我われの立場がないではないか！


万吉親分には
ぜったい
ないしょに
しと……
ふふ……


自首する
時がきたで
こいつは……


ええ
ーっ
親分!!


うわ
ーっ
おれが
悪いんだ
おれが
あーっ


安心しろ
三吉……


お前のあのけがが
事故だとしても
仲台が 油をまいた
のは 事実やないけ
……
やはり…わいは
仲台をぶちのめし
おなじことをやった
はずだ!

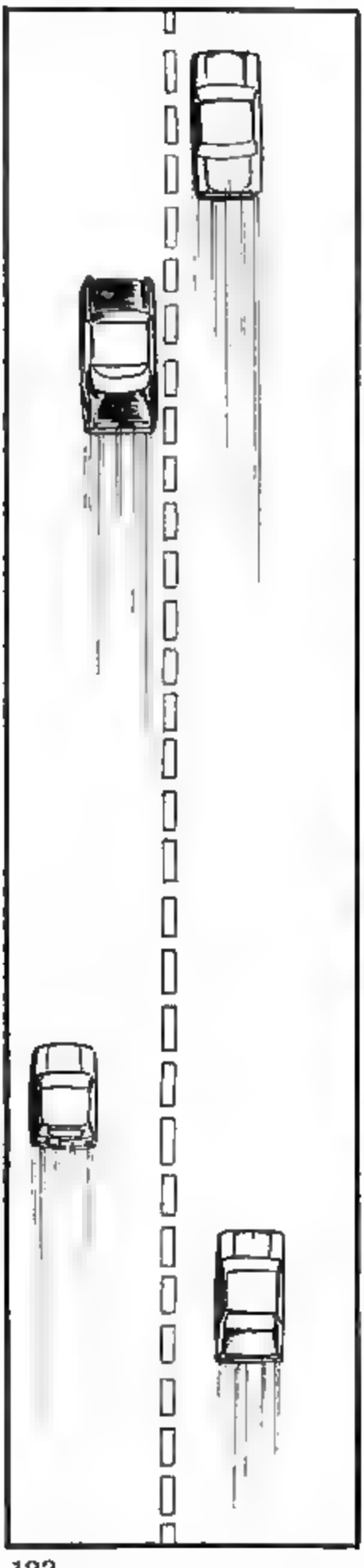


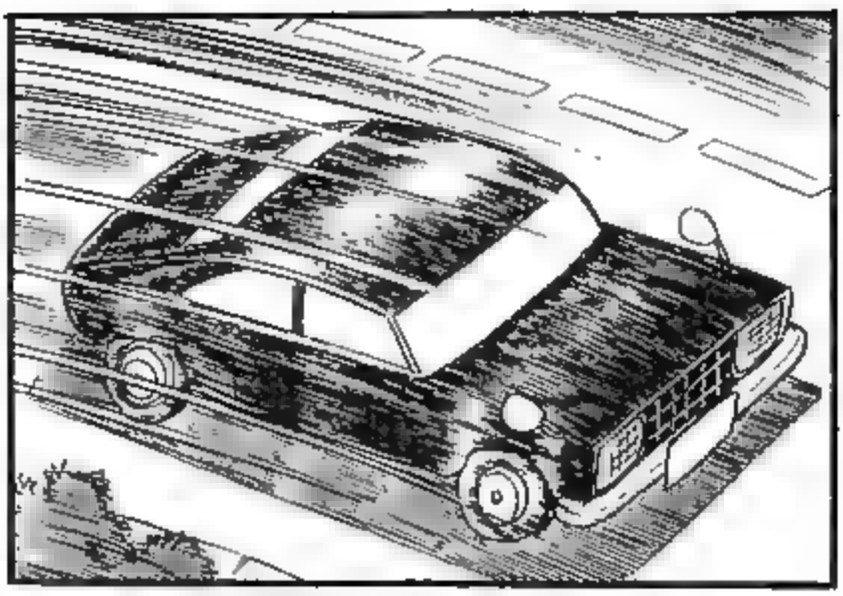

山へ入って
二か月
ここいらが
しお時と
ちゃうか
光五郎…


このままがんばっていてもいつかはとっつかまる……
その前にでちまったほうがさまになるで
ふふ……
ははは……
わかったあーっ!!
しかし 親分ただでは自首させんぞ
この坊谷光五郎万吉親分が自首するにふさわしい
最大の演出をやってやる!!


光五郎の使いがとび
名古屋から
カスミの大三郎の命令が
日本全国にとんだ
そして日本全国の浮浪者たちが
赤姫山のふもとに
集結したのである
その数
じつに八万人


戸川万吉
ついにみずから
山をおりる
赤軍ゲリラ
一味
一千人の兵指
一旦奪われた
決定だ
おい
だれか
おらんか
はっ
何か…
すぐ飛行機の
手配をせえっ
あなた
うむ
～～っ
わしら
すぐ西海へ
いこう
はい
……

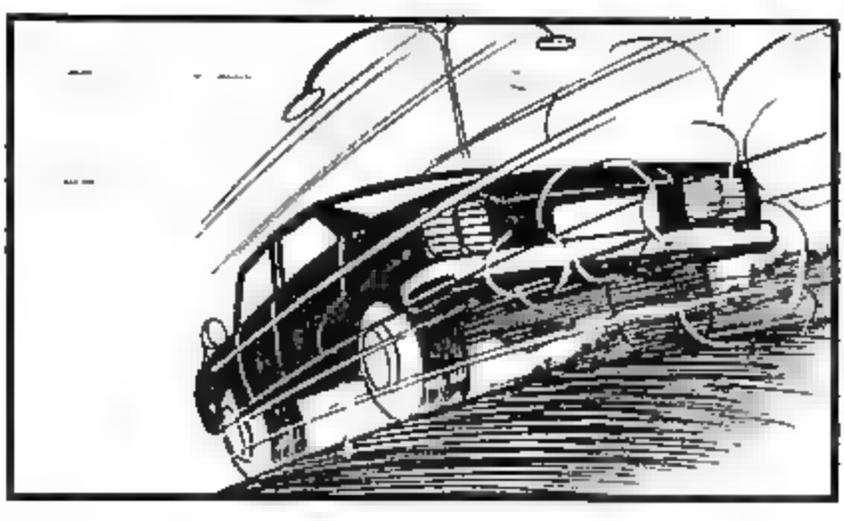





万吉め
ここまできて
あっさり
自首とは
また何か
考えとる
かもしれん








お聞きください
この大歓声
……
自首して
でてくる戸川万吉を
今やおそしと
待ちかまえる
見物人です


まもなく
山をおりて
くるでしょう
それを　ひと目
見ようと　赤姫山の
ふもとは　もう
たいへんな　こん
ざつです……
GENMA




きました
きました
万吉一家が
見えてまいり
ました……
どうどうと
歩いてきます
どうやら先頭は
眼帯の銀次です

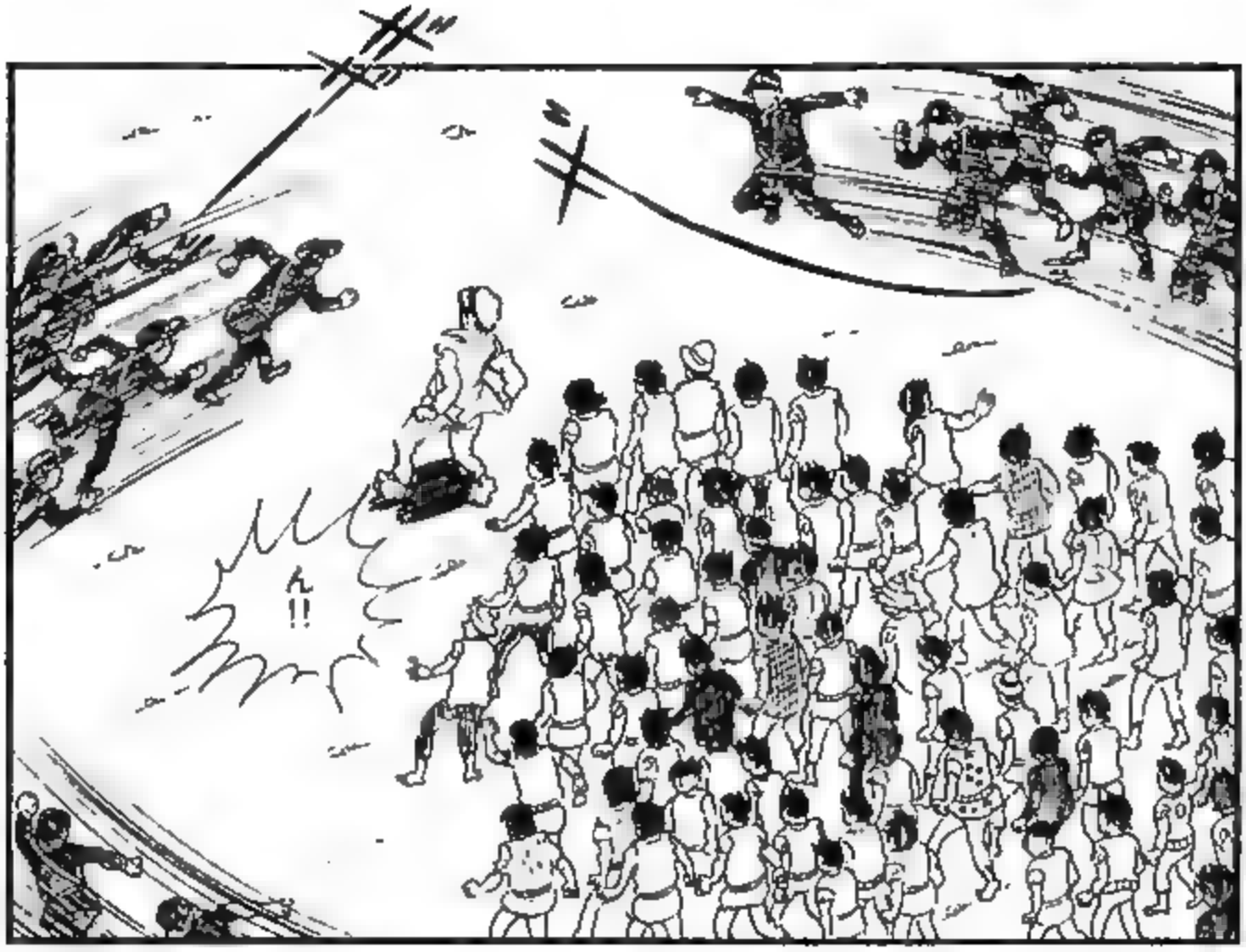

うわあ
ーっ


一千人の子分に
守られて 今
万吉がおりて
まいりました


一千人どころ
ではありません
すごい！


これは
すごい
三万……いや
なん万人いるか
わかりません
すごい
浮浪者の大集団です
それに守られて
戸川万吉　山をおりて
まいりました




ん!!


ここまでよい
ここからは
我われが
運行する!
そうそうに
万吉を
ひきわたせっ!


ふざけるん
じゃ ねえや
ぬけさく!!
おれたちは
自首するん
だぜ
自首を!


こんな中途はんぱな
ところで　万吉親分を
ひきわたせるかよ！
警察署へ
つくまでは
指一本ふれ
させねえっ
それとも
腕ずくで
ひきとるか
……ええっ
だんな
……
うう…
ちい
～～っ
そうりゃあ
――っ
前進だあ
――っ
おお
――っ
!!


これが光五郎の演出なのだ
万吉を守る八万人の大行進が……
どけどけーっじゃましやがるとふみつぶすぞ
うわあはははありがとうーっ
いよーっかっこいいぞ万吉一家!!




万吉……


特等少年院の巻
おとなになることによって
そのすべての行動は終った
ズーン
判決をいいわたす
ざわざわ
ざわざわ
戸川万吉数多くの少年たちを煽動しての暴力行為は許しがたいものであるよって戸川万吉……
特等少年院に送る


あほんだら
そんな判決が
あるかいっ
!!
なんちゅう
こと
ぬかし
やがんね
!!
重すぎるやないけ
!!


しずかに
さらせえ

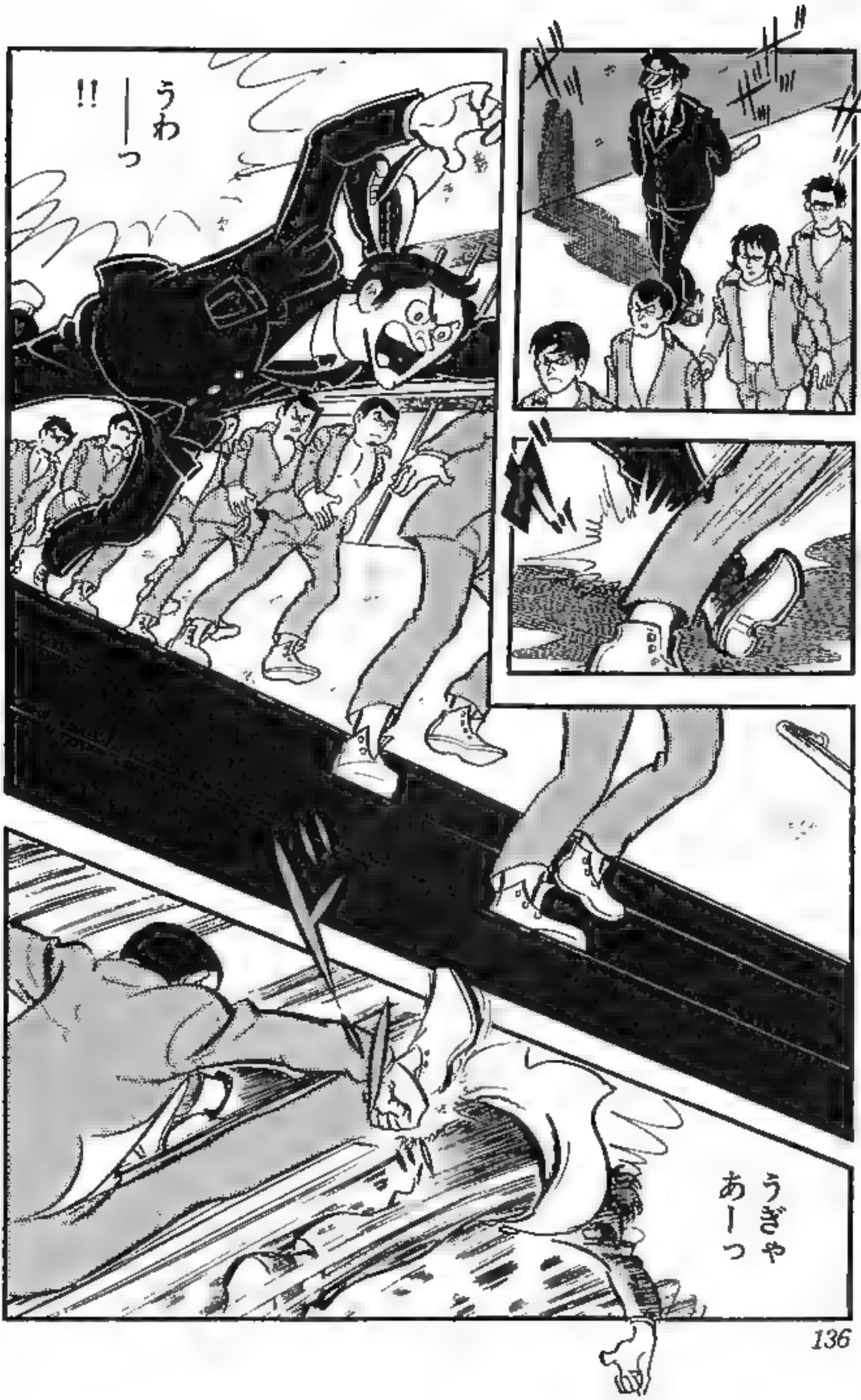

む…
むむ…


ええのん
じゃ
これで……
ふふ……


ガキ大将万吉は終った
そして
これから
男一匹万吉に
生まれかわっていくのである
ええ
気持ち
やあ……


有平少年院




うわ
!!
うぎゃ
あーっ


ケケ…
うわあっ
ははは…
ぎゃは
はは…
だれだ
あーっ
姓は
久保
名は銀次
通称眼帯の
銀次!!


また
ささまか
新入りっ
……
へい
さようで
……


き……
ささまあ〜

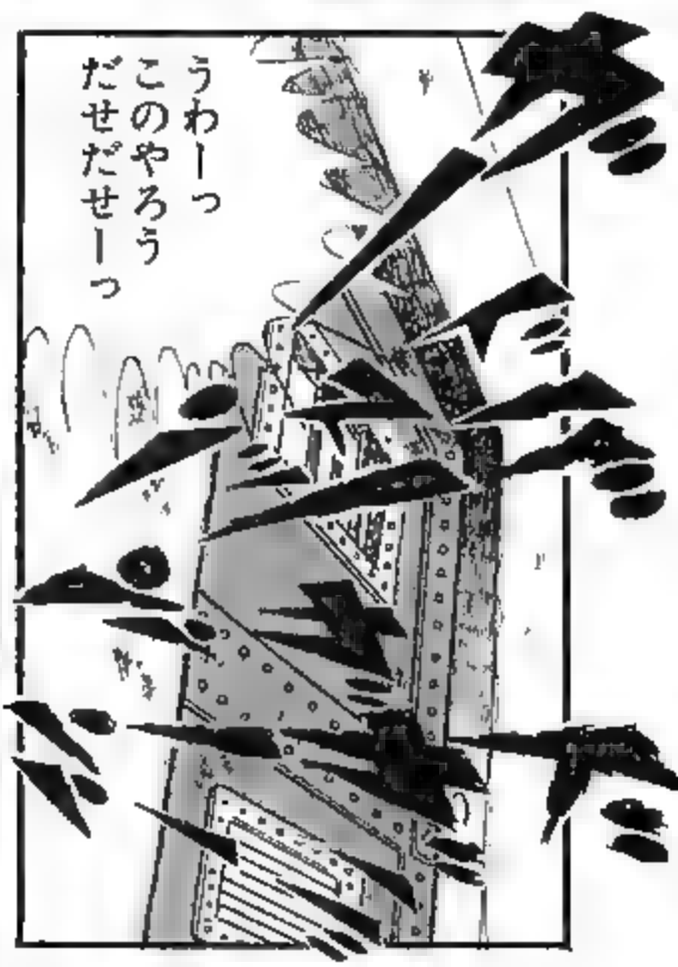

きょうという
きょうは
かんべん
できん……
反省房へ
たたき
こんで
やる
こいっ


うるせえ
——っ
はなし
やがれっ
うっ


へっへーっ
いきゃあ
いいん
だろ……
いけばよ
〜〜〜っ
ケへへ
へへ…


ケッ…
あの新入り
やろう……
でけえ
つらしやがっ
てえ～～っ


ここから
だしやがれ
――っ
こらー
しずかに
せんか
ーっ！


うわーっ
このやろう
だせだせーっ


うわーっ
ちくしょう
ーっ


待ってて
くれ
親分…
こんな
チンケな
ところを
ぬけ
だして…
親分の
いる
特少の
ほうへ
いくぜ…



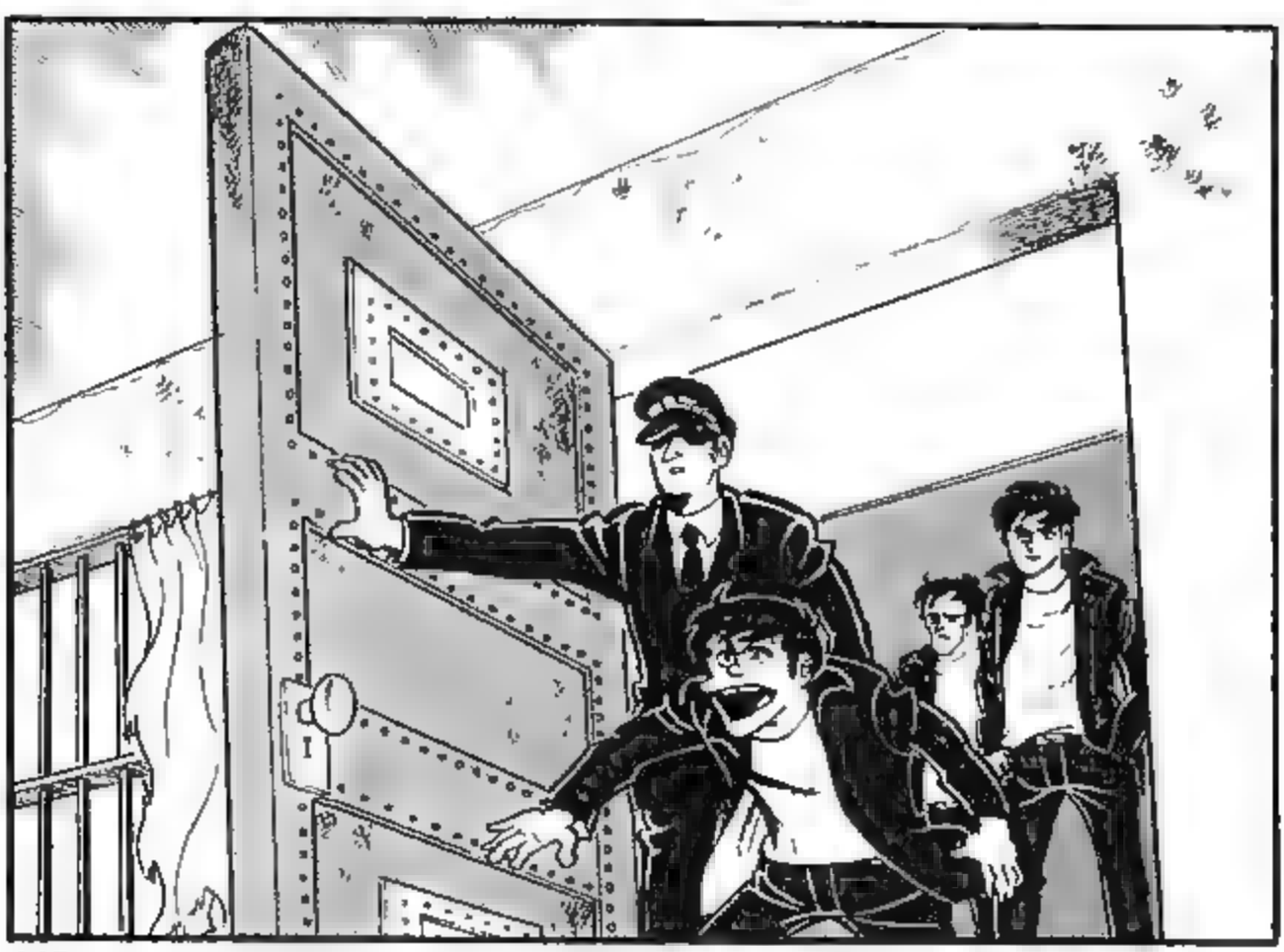

ああ…
ここが
お前らの
部屋だ


うわっ
あーっ!!!
!ン
うう……
ばかだ
ばかだぁ
がんべん
してくれ
ーっ!!
どっ……
どう
したんだ
お前
……
ここだけは
……
この特少だけは
はいるん
じゃねえ
まるっきり
地獄だ…
おりゃあ そう…
聞いてきたんだ…


なあ　教官さま
よおーっ
おりゃあ　二度と
悪いことは
だから
だから
かんべんして
くれーっ
ばか者
いまさら
なにを
いっとる
か……
ふふ
……
それに　いま
心配はするな
なんのために　我
われがいると思う
知っている
いるんだ
おれは……
知っているぞ
この特少で
いままで
何人の人間が
リンチにあって
死んだか……
本で読んだ
こともあるし
人からも
聞いた！


はっ
ははは
そんな
ばかなことが
起って
たまるか!
もし
あったとしても
そんなことは
……
なん十年も
むかしの
話だ……
ひっひ
ひ……
あんたらは
自分達の落度に
なるから
かくすんだ
ちがうって
のかーっ
ふふ……
こいつあ……
思ったより…
すげえところ
らしいで…ふふ


しかし　わいは
やる……
やってみせる…
ここにいる
悪党どもを
全部　わいの
意のままに
してやるでえっ
ふふ
……
さあ…ねごと
いっとらんで
さっさと
いくんだ
うわーっ
いやだ
いやだーっ
ガラガラ!!

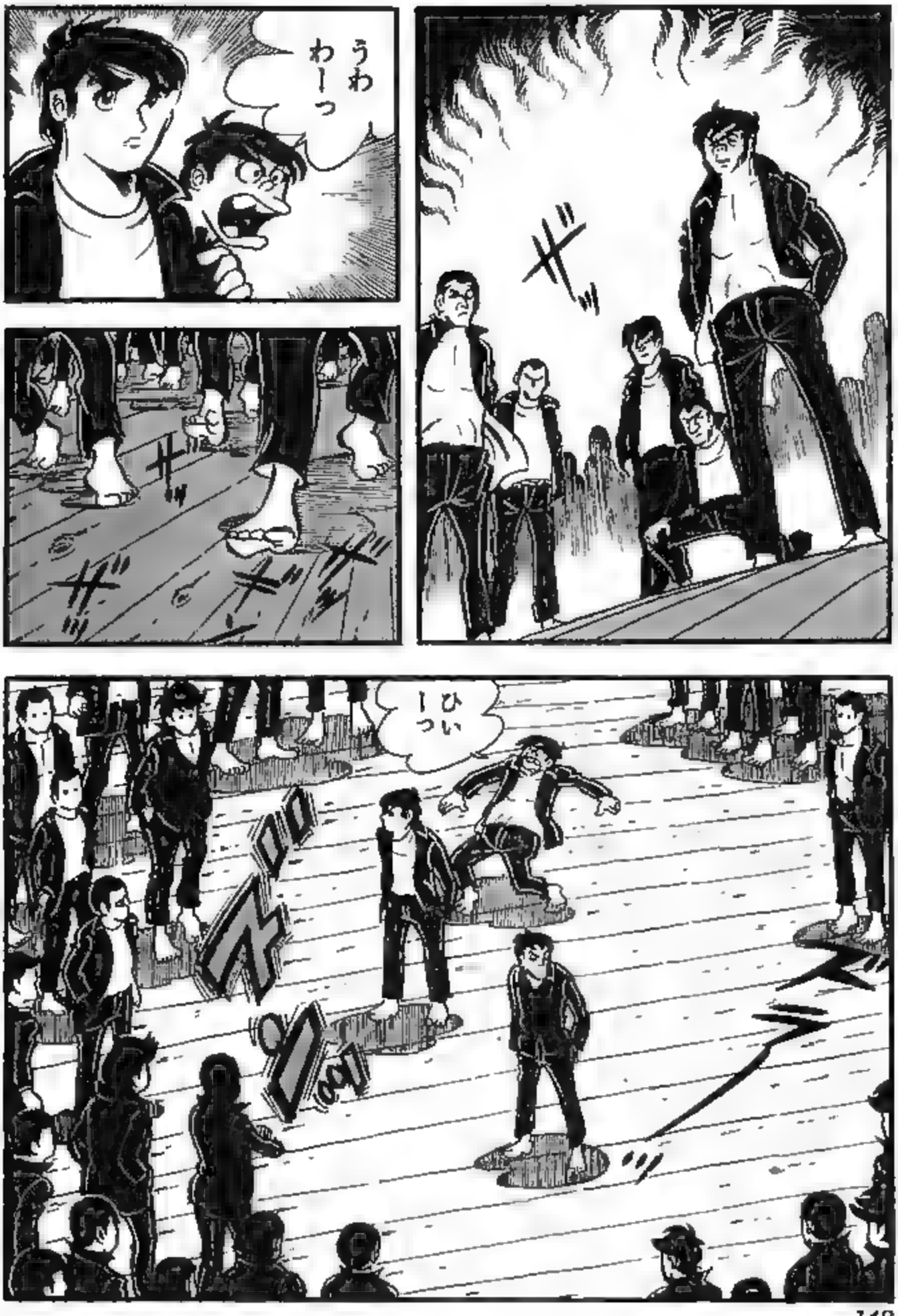





こんど
この部屋へ
入ることに
なった
新入りだ……



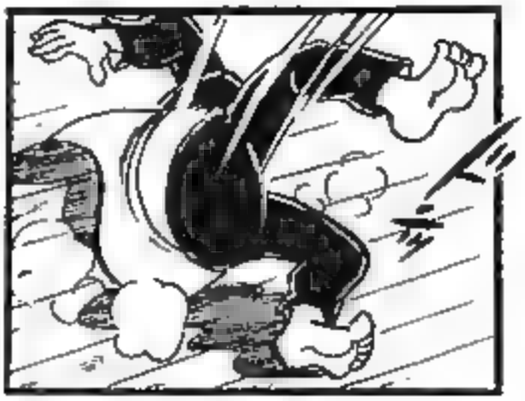

あわわ……
よろしくたのむぞ
ひっ


うわーっ
ひっ
ゴロ
ゴロ


助けてくれ
助けて！




便所
うむ




準備が
できましたぜ
部屋長……



地獄の歓迎パーティーの巻

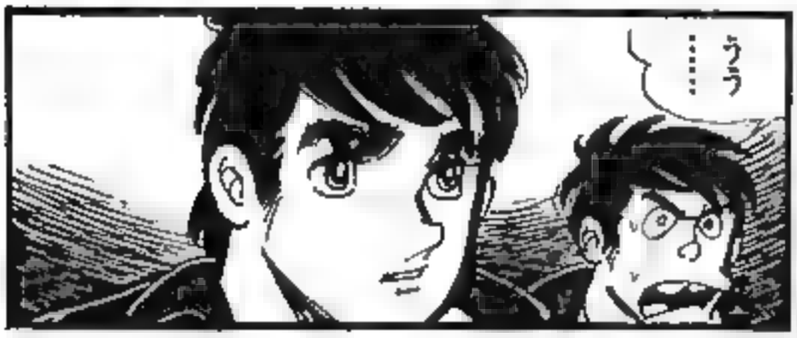



まずそこの細いのおめえからだ……
へい……
名まえは……
須永博(すながひろし)
通称(つうしょう)ヘルス…


おめえ～～～
この特少は
はじめてじゃ
ねえな…
へい…
ごやっかいに
なるのは
三度めです
こんどは
なにを
やってきた
へい……
殺しを…
へっ……
ふっふっふ
うまいこと
殺してきた
ようだな…
へい……
酒をくらって
ケンカの上での
殺しに
みせかけ
まして……


やるじゃねえか
ドドド…
ゾゾゾ…


とんでもございません


うう……


だがな……


おれの前じゃあでけえツラはさせねえ……


口をあけろ……
よしな……
声をだすような男じゃ ねえ
そいつにはいらねえ…
ガラガラ!!






ゲヘヘ……
ありがとうございました
ズズーン
男やないけこいつらも……
ふふ……
こいつあほんのお礼です……


うわあっ
根っこだ
根っこだぜ
うるせえっ!!
ふふ……いい男だぜてめえ……
へっ……どうもへへ……


うめえ
〜〜っ




つぎ……


てめえ〜〜
だよ！
でっぱ……


なぐられても
一発だけ
か……
へへ……
たいしたこと
ねえじゃねえか


ぐずぐず
するな!!
ひっ


へい…えっへへへ
名まえは 岩松
年男といいます
どうぞ
よろしく
えへへへ……




じつは……
ひったくりの
常習でしてね
……
ちょいとや
そいとじゃ つか
まらねえんですが
それが ちょいと
へまをやっちまって
みやげ
は……


みやげ……？
ごじょうだんを！
こんな厳重なところへ　みやげなんて　そんなえへへへ……
ですけれどねここをでたあかつきにはいままでひったくりでためこんだ金を…
みなさんにゴソッとさしあげ……
110
はれはれ
なんですか話は　最後まで　聞いてくださいよ
えっへへへへへ…


いやあ そんなもん けっこうですよ ぼくだって声なんかだしませんよ
うっ
一発だ……へっへ……
一発ぐらいなんでえサンピン……
ぎゃあ!!


うぐっ
!!
終った
これで…
おわりだ
……

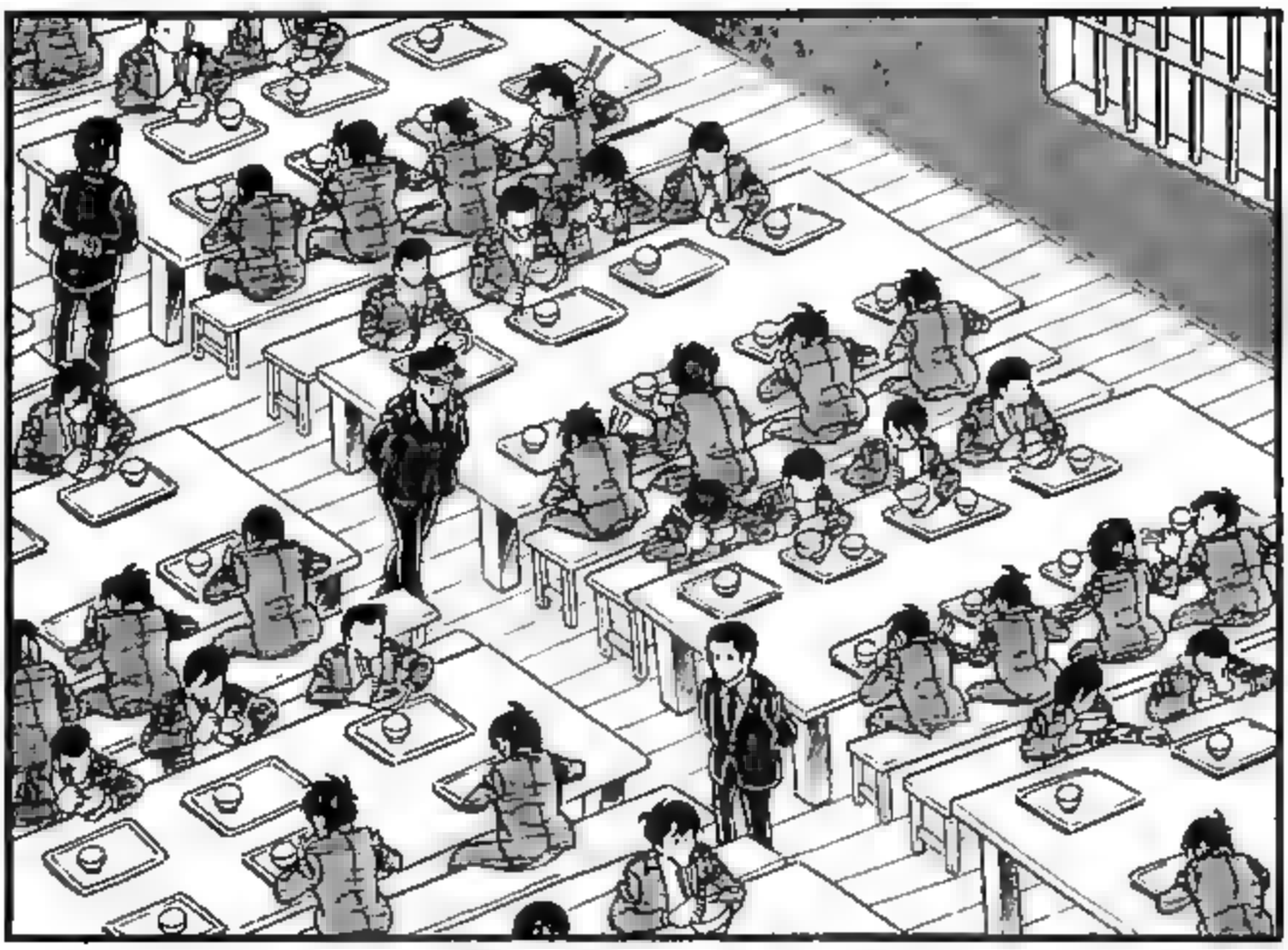

はなせ……
くっへへ……
ひっ


やれ
へい…
ズッ
そ…そんな
一発だけの
はずだ
なぜ…
なぜ
おれだけ…
ゲスめ……


ゲボッ
!!
ケヘヘ
ヘヘ…
ひーっ
ひひー


ふふ…
いいだろう
しかしな
これで
すんだと
思ったら
大まちがいだぜ


つぎ…
きさまだ
態度(たいど)の
でけえの
……




なんでえ
このめしは……
けえ!!




これが人間さまのくえる しろものかよっ なあおいっ
うぐ
久保きさま〜〜っ


なんでえまずいからまずいっていってるんじゃねえか
なにい——っ


きっ…きさまという奴は…また独房へ…
やめたまえっ


あの男に独房はもうきかん 別の手を考えよう
まったく 何を考えとるのか悪い方へばかりいきおる


ゲヘヘヘ……


へへ……
うぐ
こいつでも人ひとりぐらい殺るのはわけねえんだぜ
ばかにでけえ態度するじゃねえか
ええ～～～新入り!!
!!


ふふ…
ン……
かげでこそ~っと……
このていどしかできねえのかてめえら…
ふざけるんじゃねえ!!
わーっ
わわ……
買ったぜーっ!!
わわわ
買った
買った
あーっ
げひっ!!


うっ
や…
やろう
……


このけんか
……


眼帯の
銀次さまが
まっ正面から
受けてやるぜっ
!!


万吉一家
一の子分


やろ〜っ
てめえ〜
やっち
まえーっ


おお
ーっ


やめろっ
こらーっ
やめるんだ
さわぎを
おこすと
それだけ刑期が
のびるんだ
ぞっ
わっ
うるせえ
このばか
名前
は…
戸川
万吉…

殺人リンチの巻




こ……
こいつが
そうか……


こいつが
赤姫山の
戸川万吉！
おもしれえ
一千人の子分を
もつ ガキ大将
とっくりと男っぷりを
みせてもらおうかい


なにをやって
へえって
きた……
態度ばかり
でけえが
しらねえ
らしいな
てめえ
この特少での
かんげいは
さいごのひとりが
一番すばらしいのをよ


ケへへ……
怖い物知らず
の若造って
やつか…
かわいい
野郎だ
ふっふ…


へっへ
へ……
ははは
……
うわっ
ははは
!!


ぬかすな
はんぱ野郎
めらっ
これから わいの
いうことを 耳の穴
かっぽじいて
よう〜く聞きさらせっ




ン……


おい……
おめえさん
じょうだんだろ
まさか
本気でいってるんじゃねえだろっ
人の話は
最後まで
……
聞かんかい!!
うっ
本気らしいぜ
この野郎
むりだ
こんな
ところで
いきがって
……
万吉さんよ
ふふ……
へっへ……
ドラがはいって
ハネ満
リンチだ
この特少で
先輩にさからったら
どうなるか…

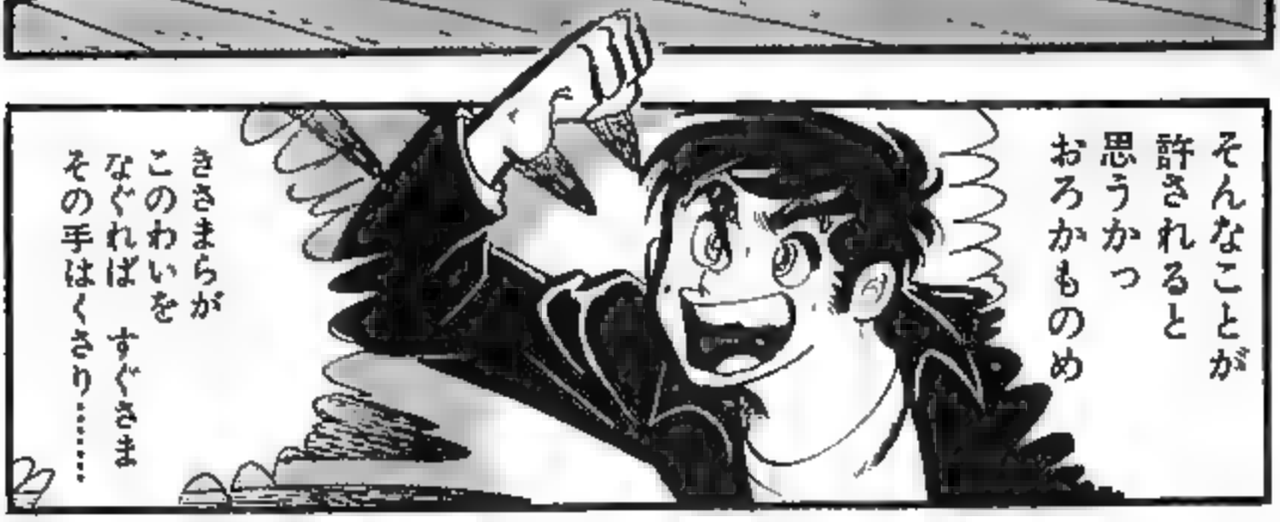

体でしりやがれっ
へっ…
よさんかいてめえら……
冬の夜はなげえ〜〜っ
せめてねごとぐらい聞いてやれ
へっへへさすがひと部屋をしきるだけの大物や
そこいらのザコとちがって話が通じるわい……
こっ…このちっ…
わいがいくら強いからといってこれだけ相手に勝てるわけあらへん…


しかしだあっ!!
わいは天からこの地上におろされた男だ
ぷっ…


いまの日本いや… 地球ではな
この戸川万吉さまを必要としているそのために天よりおろされてやってきた
この命のすりきれるまでやらねばならんことがゴマンとあるんじゃあ
わっはっはっはっ
うあーっはっは


ふっふ…
あまり
たいした男
じゃねえな
無鉄砲
だけが
とりえか…
なんでえ
てめえ
大ぼら吹きか
ははは…
ははは
くるとこを
まちがえたん
じゃねえのかい
ええ……
じゃかましい
アホタレ
めらっ
おんどれらの中で
自分は
この世の中に
絶対必要な
人間と思うやつは
手をあげてみさらせ
ケッ
なんじゃい
ひとりも
おらんのけ…


そんな
ハナクソほどの
自信もない
やつらがじゃ
なんで 天から
おろされた男に
手だし できる
かっ!!


そんなことが
許されると
思うかっ
おろかものめ
きさまらが
このわいを
なぐれば すぐさま
その手はくさり……

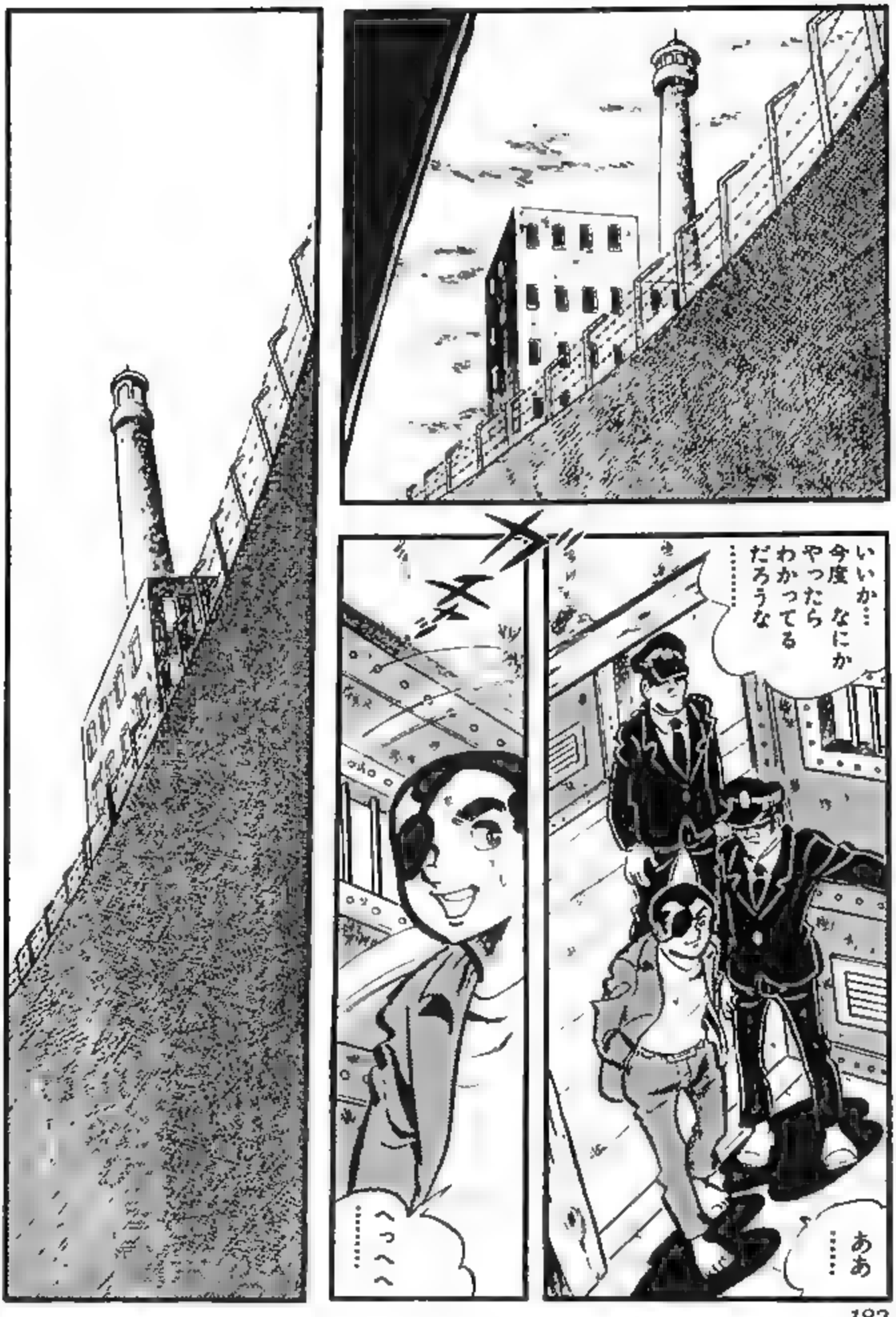

もし ければ
その足は
ポッキリおれる
ましてや
殺そうなんぞ
言語道断
じゃど～～っ


この
ばか…
ほっといても
殺されるぜ
ふっふふ……


なんじゃい
信じられん
ような
顔さらし
やがって
わいが
うそをついて
いると思うとんのか
よっ
しゃあーっ
さあ
―っ
やれっ
やって
みさらせ
へっ…
ふふ……
うわあ
ははは
ぐわっは
はは
いや～っ
おもしれえ
男じゃのう
きさま！
なんちゅうか
小気味のいい
ガキじゃ
うわははは


きさまら
今後　この万吉に
手をだしやがったら
わしが　承知せんぞっ
ええ
～～っ
へっ…
部屋長…
二度も
いわすな
わかった
のか……
へっ……
へい……


うわっはは
は……
こい　万吉
わいのそばで
もそっと
おもしろい話を
聞かせろっ
ケッ
アホめ　わいは
ほんまのこと
いってるんやど
そうだったな
うわっはは
は……
や…やろう
まさか…
はじめっから
こうなることを
予測して……


いいか…
今度 なにか
やったら
わかってる
だろうな
……
ああ
……
へっへっへ
……


みなさま
久保銀次
ただいま独房より
帰ってまいりました
へっへへへ…
よっす……
わっ
どう
したい
元気か
ほ～～っ
ここが一番
いい席じゃ
ねえか


どけ
この野郎
きも
ねえと
てめえら
ひえ…
へっへへ…
おい……
そこの
ボサーッと
したの！
へっ…
おっ…おれ
ですか
コーヒーが
のみてえな
もってこい
や……
そっ…そんな
コーヒーなんて
むりですよ
……
やかまし
教官のでも
なんでもいい
かっぱらって
こい……!!
ここじゃあ
よう……


新聞もテレビもみせてくれるんだろう！
だれの子分だ…
へい戸川万吉親分の……
おれの名前はなんでえ
へい眼帯の銀次さんで……
それがわかっていてさからう気かてめえら!!
とっ……とんでもございません
あの赤姫山のことはこの少年院でもすげえ人気だったんですぜ
その久保銀次さんが あなただったとは とんだおみそれをしましてほんとに どうも…

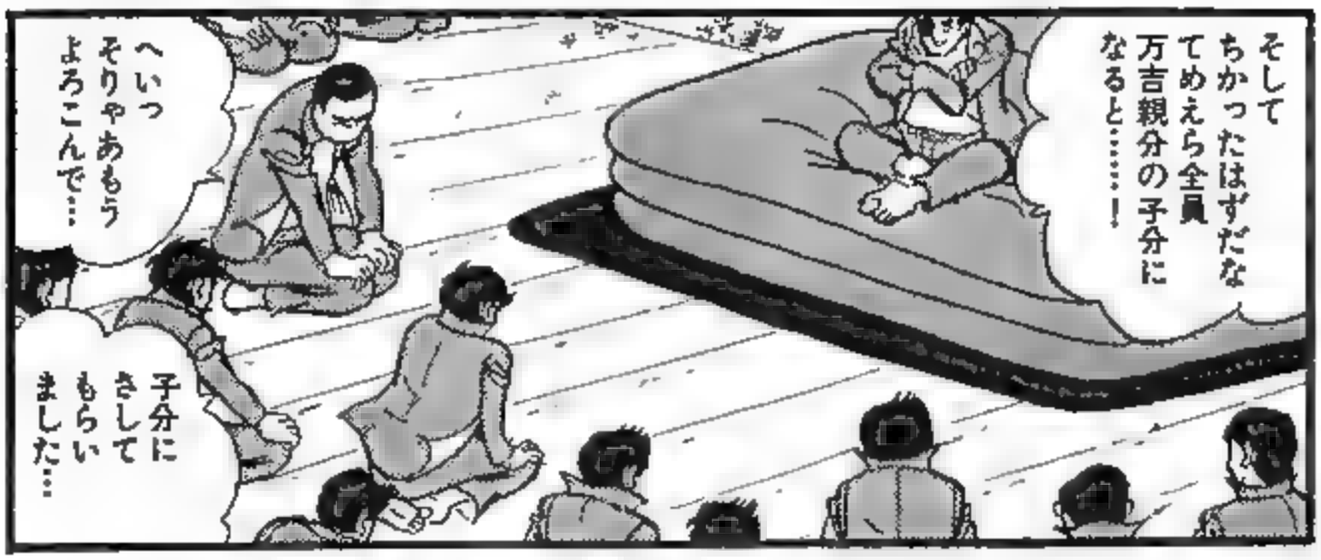

そうだろう
そうだろうとも
やめろ
やめんか
久保
うる
せえーっ


ほら…
新聞に
でて
いた
赤姫山
の……

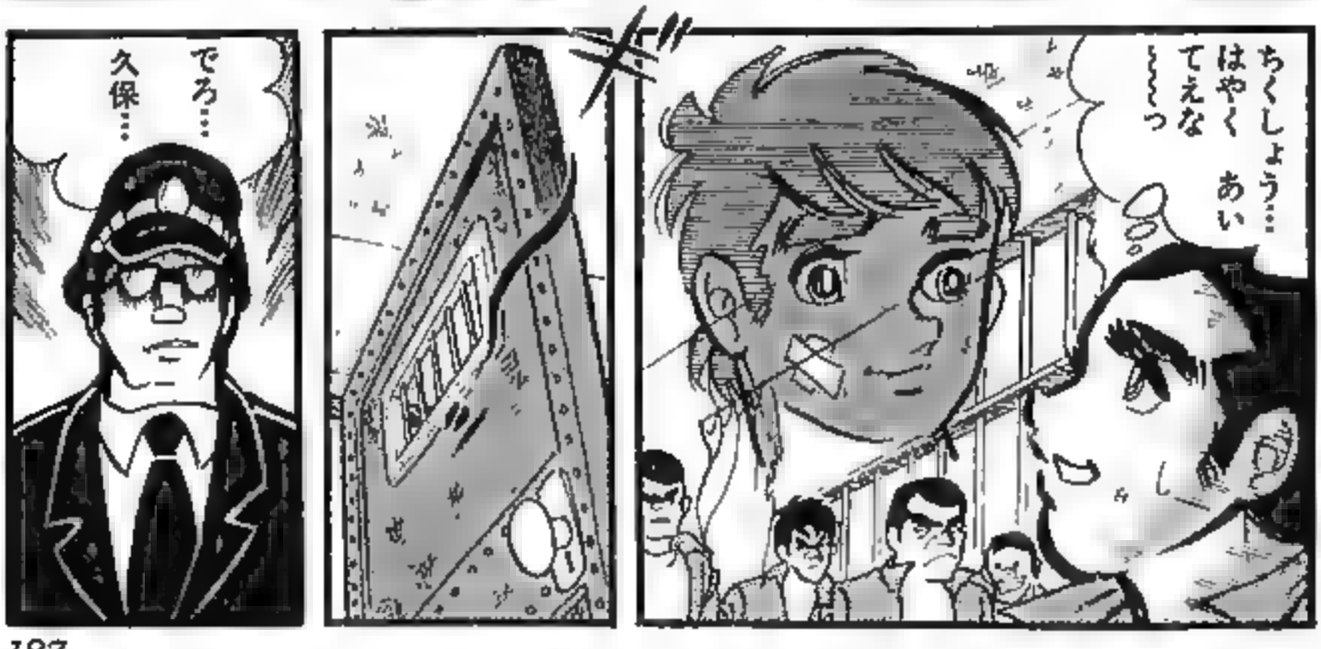

おっ…おい
あの野郎
どこかで
みたことが
あると
思ったら…


あっ…
戸川万吉の
一の子分
眼帯の銀次だ


そうかあ～
どうりで
つええ
はずだ…
やることも
とびぬけて
はでだと
思ったぜ
……
へっへ
へへ…

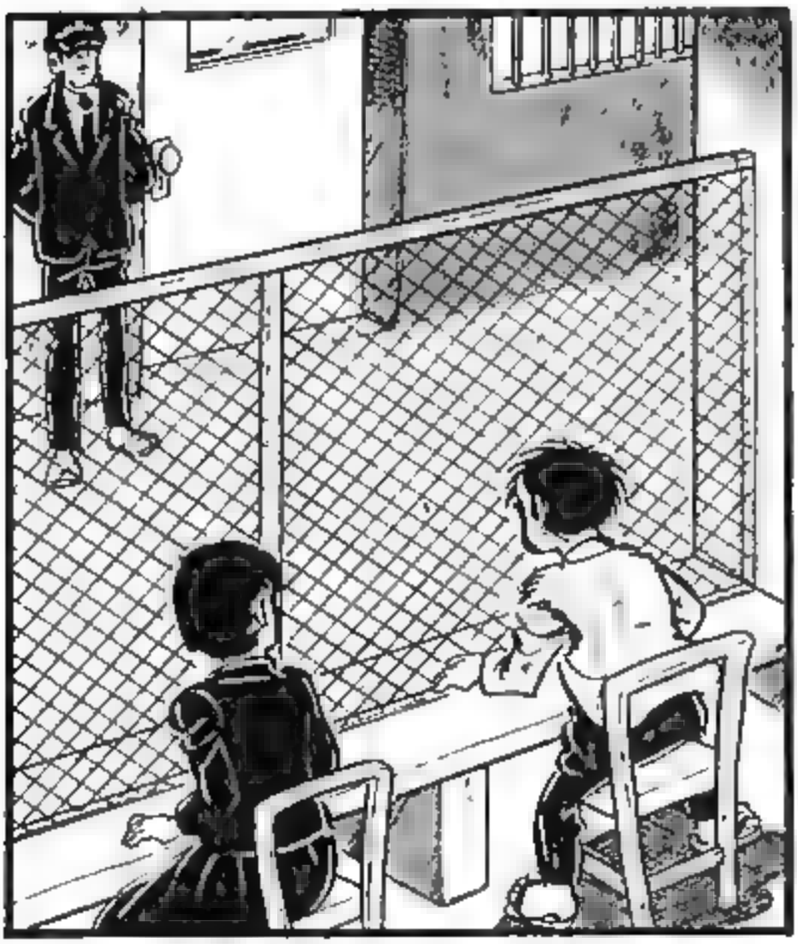

そしてちかったはずだなてめえら全員万吉親分の子分になると……！
へいっそりゃあもうよろこんで…
子分にさしてもらいました…


親分…やるぜ〜っおれっちは
へっへへ…親分もいまごろ…うひゃひゃひゃ

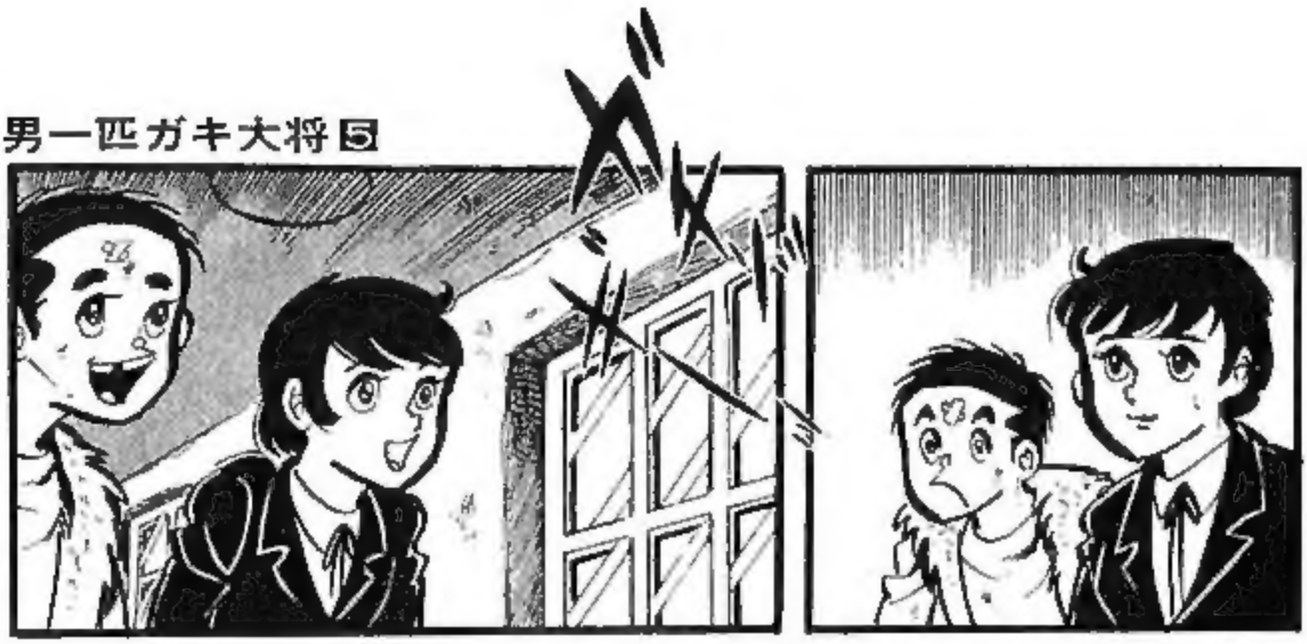

ちくしょう…はやくてえな〜〜っ
でろ…久保…

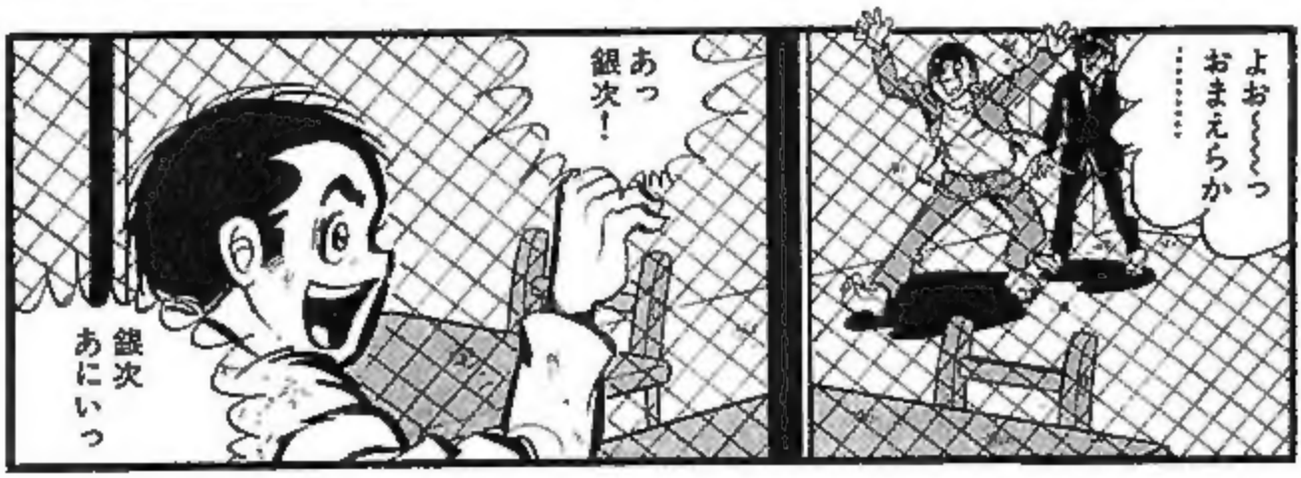

ひょっほ――っ待ってましたぜ
いよいよ特少行きですか…
ちっ……まったくあきれはてたやつだ
特少はな少年ながら殺人その他凶悪犯ばかりなんだぞ…


そうたやすく入るわけにはいかん！
ちぇっ




面会だ……

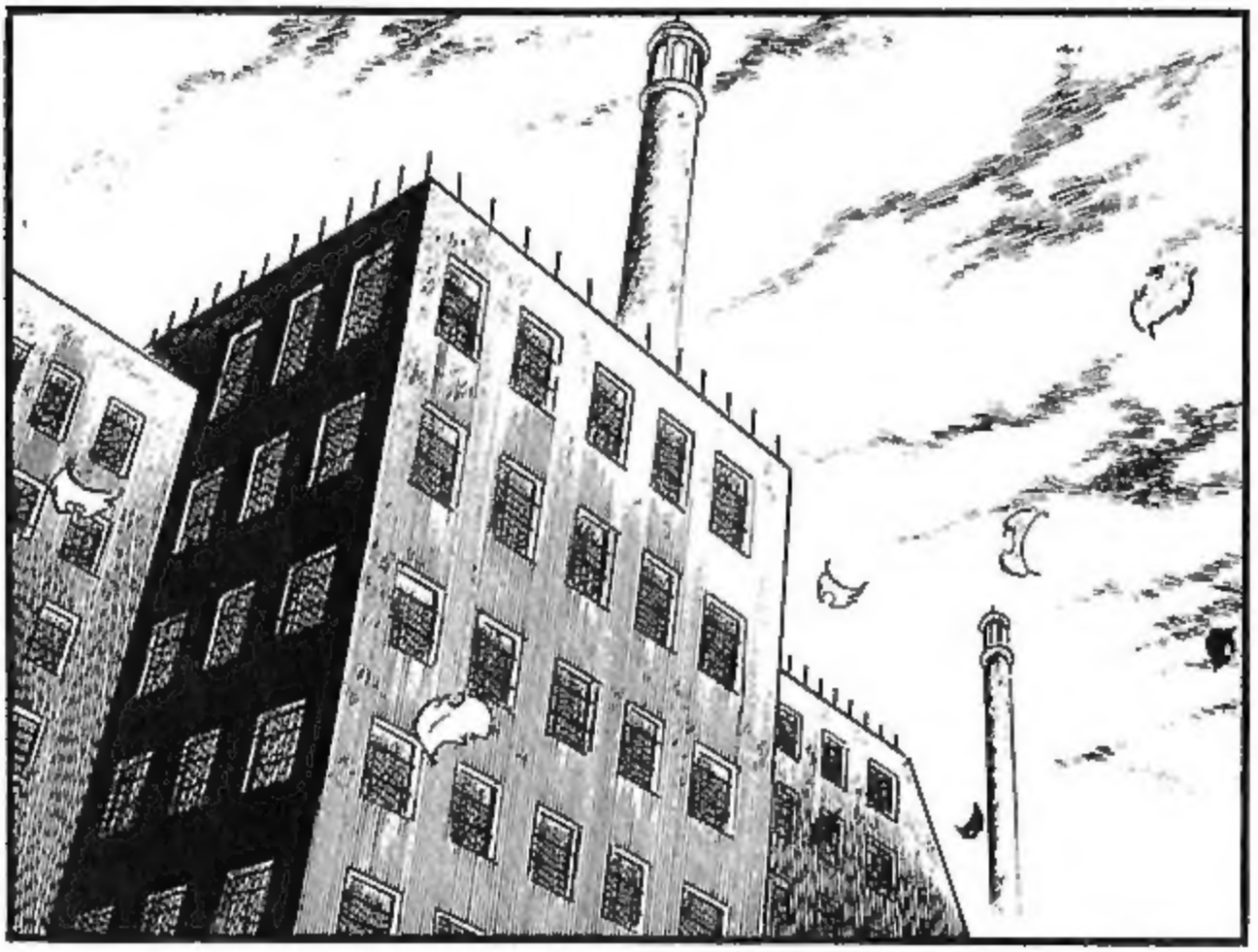



よお～～っ
おまえらか……
あっ
銀次！
銀次
あにいっ


おっ……
あんたもよ
きてくれ
たのか…
え
～～～と
まあ!!
なによ
自分の恋人の
名前も
忘れちゃっ
たの
あき子
よ……
ばか……


へっ……
てっ……
てやんでえ
いつ　お前
なんか　恋人に
するって
いった
だいたい
よーっ
おめえみてえな
ガキは　おれの
しゅみじゃねえんだ


まあ
いったわね
なによ
眼帯野郎
うあ
ーっ
ねえちゃん
そんなこと
いってる
場合と
ちゃうでえっ
そっ…
そうだわ
一大事よ
……
かんじんな
万吉さんの
ほうは面会させて
もらえなくて
知らせられないのよ
なっ…
なにが
……
じつはね
万吉さんの
いる 特等
少年院へ
……
だれかの
さし金で へんな
奴がもぐり込んで
いるらしいのよ
そっ……それが
とっぴな話やけど
もしかしたら 殺し屋
かも 知れへんねや…
へんなやつ
なんだそりゃあ
……
なにっ!!




へい……
教官に呼ばれ
てちょっと
うむ……
そうか…


くれぐれも
いっとくが
きさまら
やつに
手をだしたら
承知せんぞ
へい…
そりゃもう
部屋長の命令は


おい 万吉
万吉は どこへ
いった…
知らねえか
おめえら…


ふっふ…
かわいい
野郎だ
まったく
おれに対して びくつかず
まともに口を聞いたのは 奴だけだぜ
ふっふふ……
部屋長……
ばかやろうっ
なれなれしく
口をたたくんじゃねえっ
うっ
部屋長に
用事がある
時はな…
おれたちを
とおしていえっ
へい……
どうも……
じつは 万吉のことで 少し話しときたいことが…
なにっ
万吉の
ことで…